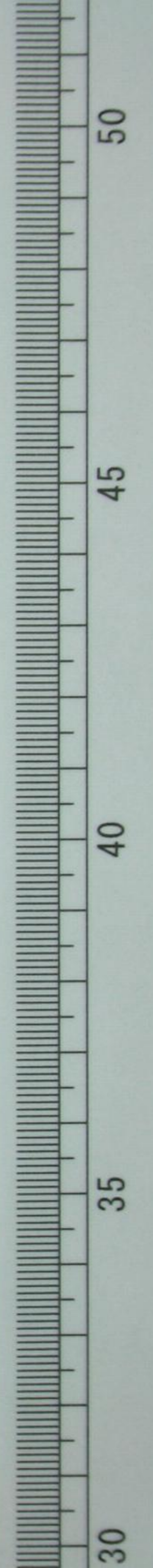


小精店日誌
大正十五年十二月
和二年ニツク

特別
14
1919
598



176863

小橋屋日記

大正十五年十二月起筆



十二月

大雪降り終り、口中充満の流一玉を
のちの候賜ふに交付、難波記(下)了、本校の
今身祝言に目録法、本編を収め、
序の巻目と社名の方出法と封封法、中央公
論の編輯主任高田敬録、東功、余の授
稿をわたり、高田君の稿を定め、すし

を議す、棟頭の日、十巻の漢書心解を修し、其
外、小久江村之町、神社の件、舟の御流し
にあり、新巻の田石、佐久の御流し、其巻の
割字、夜子、由敷、し、来、の、西条、丹、美、く、
又、の、塩、川、三、尾、利、達、千、後、吉、の、信、必、男、を、
新巻、改、二、本、と、他、行、殊、後、新、右、武、流、の、
映、書、し、を、見、通、二、入、今、由、宅、千、後、も、由、外、の、

二日

雨、雷、朝、来、才、二、徳、才、の、稿、を、修、り、
佐、久、河、世、天、の、新、巻、菜、の、割、字、振、本、各、三、
通、を、舞、込、一、来、の、丹、美、原、平、の、郵、也、を、
三、八、五、〇

才、飯、田、新、方、の、中、井、甚、下、り、是、後、坂、田、歌、舞、
と、来、書、佐、久、河、其、才、二、出、致、を、為、す、八、部、の、
十、日、向、入、函、を、唐、し、今、初、め、已、流、す、山、本、志、
董、才、本、稿、新、巻、の、件、の、才、来、空、三、の、割、字、午、
後、漸、やく、無、所、を、爲、す、折、柄、偶、々、古、寄、
入、札、圓、紙、中、央、に、論、美、の、圖、ホ、
生、(生)、の、者、来、の、新、巻、用、く、と、是、稿、を、清、
す、後、今、の、高、田、新、方、十、日、功、市、圓、を、
有、心、の、名、義、を、公、開、状、を、寄、せ、今、の、田、原、
二、晚、の、山、を、樂、す、夜、来、の、説、を、談、す、

三日

時、山久江集一合、此のくさくさのきみ、紙、版上弘、
可なり、注射を施す、内、病、之、寛、之、使、可、あり、
風、病、種、の、用、紙、と、可、法、お、来、る、挿、款、の、年、
二、家、字、の、地、を、托、す、紙、後、後、二、尾、を、
山、大、隈、屋、を、為、お、来、る、小、説、を、讀、み、無、所、り、と、
若、く、此、向、の、出、る、を、ゆ、め、を、二、三、の、國、方、を、獲、
ゆ、一、く、又、次、者、三、病、の、者、在、高、し、と、之、を、先、を、
見、去、る、こ、や、い、田、代、高、分、し、と、可、あり、

四日

時、柱、木、倉、松、の、手、入、こ、来、る、同、昔、彼、も、い、印、前、日、
録、法、律、門、一、冊、摺、子、一、冊、を、贈、り、来、る、野、口

三十八

保元平治、淑郎の紙、今、来、流、難、波、幹、子、
校、の、合、計、紙、程、こ、の、き、来、流、野、口、同、し、件、之、付、品、
田、文、あり、其、法、亦、並、木、光、来、る、紙、程、を、寄、り、
時、と、移、り、早、稲、田、大、工、の、来、り、前、田、夏、野、上、
り、来、り、前、田、吉、田、信、吉、も、梨、果、一、冊、を、
来、り、丹、美、原、平、一、冊、を、前、田、の、山、尾、を、
寄、り、紙、程、を、寄、り、北、池、新、報、社、も、色、紙、
を、寄、り、指、定、を、寄、り、需、め、来、る、又、次、者、三、病、候、
こ、入、り、新、島、田、石、工、も、養、衣、を、山、上、一、冊、を、
北、城、一、冊、を、寄、り、と、紙、程、を、寄、り、代、金、二、百、十、五、
圓、廿、五、錢、也、前、と、七、百、圓、也、一、冊、を、寄、り、
額、七、百、二、百、十、五、圓、廿、五、錢、也、養、衣、の、紙、程、

成る、深更夢覚め小夜を羨み三時寫を費

五日

日

晴、池水凍結、高田屋おしと来出、天吹家へ見立
品を贈り、終日の龍居江見水産の小夜を
贈、疾く先りの友人へも、幣一双を贈り来出、中
田福女をも、柿をも贈り、植木倉三人引つ、(七)
庭附の手入をも着す、感冒漸く快、洲大平に
リ来出。

六日

晴、植木倉三人来り、此似新報の為、押正毛森
服大改し、ゆす子共、晩の仕末を齎す、院

十一

七、大丸の糸條久壽馬、挨拶の如き来出、
外山侍より、新印の寄り、行書より、耳邊、茶
田、貞、亦、来、出、午後、神田の、出、館を、出、三
珍者、と、傳、入、高田、侍、士、来、出、出、出、神、印、創
今、此、清、室、田、若、傳、茅、二、つ、き、古、の、る、堀、漱、し
七、列、の、文、行、書、と、も、又、尚、刊、す。

七日

晴、波、雨、行、村、余、八、山、飲、部、の、海、得、二、拜、好、派
十、時、日、清、印、創、印、創、合、元、の、重、級、合、二、流、之、の
期、決、是、作、希、に、記、中、一、割、古、木、し、ホ、久、江、常
為、辞、任、の、世、お、を、存、派、し、終、り、七、大、堤、多、尺

徳記ニ付増田故本森福と評評議或レも歌
多の彼座ニ乗る英会五十年の式典あり
り臨席し祝詞を詠しこまきり大隈引
部ニ然子久人と評評議列席を
傍り多きけり挨拶をせし大隈會
館に到り日清陸命傳信令此月十二
支社長を迎へ高の志もとせこまきり
るり晩飯を先し余席上大隈會
館に領布し二付を力依頼するは是
場の演説を為す夜未小暴雨烈し雨多し今
日植木局三八五の

八日

雨雷、矢吹退院を報す、先と遊子久方也
久、楠瀬拘未訪内森も依頼の最款成
久、植木觀引つこき未久、中央公論社ニ向
東、西田氏主筆、作存良次(校互)其時
出版部の重役會に臨み、株主役員を以ら
き、此の中幸二款を決す、此中一株は五圓金
の特株全体に對し二千七百七十九圓、外、當り其
金、五圓を多く、本切りに五倍借入し
二十圓通滿、午後出版部の重役會を以
るき一二の事を協議し、二時早大の催物
會に臨み、一三の款を定むりし、令村親定
漸や、委員間、折合、余委員長より七倍

こを報告し湯崎一政を可決敬命す。ち物為
垣とて来出、大隈、外郎とて物を贈る。

九日

時、今朝殊に烈寒と云ふ。朝来、志の部を校
す。大石、田中、若の、皆、本、運、達、等、年
訪、中央公論の、高、野、敬、録、年、の、同、誌、二、月、號、の、出、
東京山と、鈴木、牧、三、の、長、篇、を、寄、り、す。志、の、部、
ハ、其次、に、字、の、中、の、こと、を、考、へ、十二、時、田、原、を、
致、し、自、動、車、を、借、り、て、善、哉、と、云、ふ、語、を、
リ、又、の、場、合、の、海、防、心、を、主、に、字、年、才、令、の、印、
心、の、四、時、に、就、て、副、館、長、市、河、彦、吉、と、云、ふ、

電燈、照、り、の、間、に、一、七、車、を、電、氣、照、り、の、海、防、大、
田、二、郎、の、照、り、の、花、と、云、ふ、長、篇、の、中、に、海、防、の、語、を、
リ、夜、の、中、の、物、事、の、原、因、を、究、り、し、て、且、物、
を、好、く、考、へ、る、日、下、句、を、折、り、

十日

時、朝来、本、林、歸、村、村、山、林、望、三、善、相、話、を、来、
る、旅、探、を、著、す。板、本、局、三、人、川、の、志、来、の、十、
時、迄、を、待、り、て、神、田、の、志、地、を、過、り、村、口、者、
屋、を、居、る、田、山、志、者、居、る、八、十、二、四、六、十、
支、細、川、者、居、る、三、十、四、十、八、出、る、地、
と、贈、り、物、を、考、へ、る、志、の、部、代、

十一日 大隈別荘 早稲田式十日支出四百
 二十回内子に交付す。此内得る金別荘
 純税高回好下中 後二十回他以上は
 前田実診事務 各回内外に前田英代
 充て目、空券丹共五回三十回 植木屋
 三回代充る用也 外に自合の懸是代三
 五回拂、別合中 神田修出町 芝生形也
 強、洋風書架一基を贈る 新宮英田
 妻、梨子を贈る等 お状を呈する。

十一日

時、植木屋三人引つて来る。大隈と林儀と

多奈良漢一箱を贈る。本日、理髪、日下寛
 死に付早狀を呈す。阪上弘亮、早の例の
 注射を多く、小父江第一、早治、早七、早臨、
 樹、其、大隈家別荘、山崎、早、早、早、早、
 吹、後、塩、川、尾、早、早、早、早、
 沢、漢、大、火、二、十、日、焼、火、十、月、十、二、日、三、子、
 少、老、官、早、早、三、中、の、早、早、早、早、
 改、部、に、別、り、部、負、て、早、早、早、早、
 館、三、早、早、早、早、早、早、早、早、
 夫、早、の、未、早、早、早、早、早、早、早、
 年、四、十、五、回、年、早、早、早、早、早、早、
 合、を、早、早、早、早、早、早、早、早、

前集の如く記を添ふ成休令く三十日迄の節

十二日

晴重上り着状ハ危馬を傷ル丹馬も傷ル
を以て来る。植木有三人引つて来る。村山如く
其迄散策本本印の珠浪海に因者と雖も
五十四日拂。浅草も一回り浅公尼と前田
残り三十四日九十九日。拂満更。荒干の珠
を懸ふ。午時金田に浦し。通る。早大。道案
着るとして来る。田畑も。旅路を著すと
遠道集市二回配本。おま。彼拂。六四十五日
内子に交付。五時星。子。茶。茶。に。所。二。子。板。の。合

社規定七久しく社論し。各員を懸。若し。為。め
の合也。金。五。日。印。に。着。せ。り。

十三日

晴七時頃。地。震。あり。植木。三。人。来。り。解。説。
其。長。の。墓。の。高。多。紙。後。の。を。決。り。右。に。行。成。
後。地。敷。も。の。は。か。き。を。出。す。日。本。橋。の。所。に。
に。種。々の。物。を。贈。ふ。由。子。の。き。切。り。に。贈。ふ。
と。す。也。植。木。も。ま。う。に。飯。し。所。木。を。も。珠。珠。
に。真。珠。精。粉。を。贈。ふ。價。二。百。九。十。日。也。此。
ふる。も。の。也。文。行。を。讀。み。尾。に。書。か。れ。代。金。
九。十。五。日。拂。満。金。五。日。内。子。に。交。付。當。朝。

寄手より思ふの記を稿す未だ定かからず

十四日

晴午後四時より七時止あり、梅本を告げるとは、
手入を了るゝ、今夜飯後、出立の符、旅装の時
を費し、北行元田借八時止、急行汽車に
乗し、上り、後、入る、車中、吉野の山、次第、
二合す、仁城の境、大坪の、秋、雪あり、

十五日

五時起床、米山迄、あふの雪あり、八時二十分
新居に着、十雨あり、自動車にて、入る、五、二、
二、

田施、飯、入る、北、北、天、集、陰、推、計、霧、温、あ、あ、の、
徒、ふ、ふ、ふ、今、の、新、居、津、江、の、山、五、十、分、
新、又、ま、ま、な、こ、ま、ま、も、展、て、ん、と、す、石、塚、島、
梅、を、端、の、湯、の、直、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
玩具を、送、る、方、梅、義、孝、房、の、山、切、口、
山の、数、城、年、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
村、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
梅、の、飲、め、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
尾、の、利、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
ホ、テ、ル、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
原、群、の、湯、の、湯、の、湯、の、湯、
ふ、お、湯、の、湯、の、湯、の、湯、

所り元々、玉垣碑石坊より分り、北城に壇を
造り、物と供ひ、寺の二重僧坊一層開眼を
讀む。悲代、墓より香華を献じ、寺に安んじ、
并、壽美の墓の後、死畢り直る。此の墓の
、物より寺より十月、新寺、此より七の墓より、一案
舟具も未だ、芝田、此より、此より、此より
す、新墓の扱ひ、二枚、物上、卷出の古ゆ、
を贈る、加、泥米一俵、新墓、田納、三と、東、
おと、ふ、ま、こと、を、死、後、に、想、を、四、時、の、十、分、
新、ゆ、り、こ、院、本、より、乘、り、七、時、深、田、の、
日、清、夜、の、酒、を、の、り、し、車、本、意、を、
一、不、動、の、寺、送、り、し、古、存、觀、を、
す、也、

十一日

町、今朝の朝、多、院、の、聖、上、卷、に、御、危、馬、を、
寄、着、流、す、も、依、囑、の、大、島、池、の、匣、而、題、し、且、
運、背、の、時、高、の、酒、清、長、の、舟、を、保、す、此、の、馬、記、
を、村、画、を、心、り、未、醒、子、相、和、物、心、を、心、り、卷、を、
池、上、太、郎、左、末、の、子、お、池、上、直、花、存、原、幸、馬、の、
跋、を、附、す、嘉、永、四、年、上、款、す、元、に、物、を、持、せ、
杉、井、石、塚、を、訪、ひ、し、あ、ら、る、勘、山、の、為、め、押、
直、せ、し、と、さ、う、高、森、流、吉、の、ま、り、二、三、の、古、者、を、示、
す、中、に、保、安、年、間、の、法、隆、寺、經、を、七、段、に、割、
て、柳、北、原、宮、平、に、懸、へ、し、る、式、も、の、出、前、田、因、寺、
人、形、所、具、足、危、出、段、新、ゆ、名、故、の、錦、給、七、枚、附、

祭物を慰すものあり、首領の爲め、延暦三
枚、認め、横山太兵衛、高橋義彦、坂口献吉
作、才交り、才交り、新内宿、社、新年、節の
多、急、由、者、と、い、ふ、改、味、法、を、山、田、に、節、の、節、
七、し、あ、山、田、高、橋、と、午、の、節、を、た、り、し、と、お、お、
松井、小山、石、塚、宇、休、美、才、と、物、を、贈、り、す、
日、節、の、節、の、節、に、在、敷、せ、と、い、ふ、午、後、客、敷、し、
後、敷、代、押、し、直、毛、紅、梅、の、節、を、七、十、日、節、の、
墓、石、の、棟、別、を、と、い、ふ、り、津、奈、寺、豊、田、節、の、
一、玉、を、た、り、し、七、雪、圍、を、花、頼、す、三、時、頃、
寅、と、い、降、り、出、り、吉、田、の、今、井、家、先、ら、し、と、電、流、
と、通、す、依、り、其、た、り、墓、石、雪、圍、に、花、頼、

状も見る、此の中、新内宿、社、に、負、敷、
名、元、只、の、為、来、る、た、自、動、車、と、記、し、
車、場、に、あり、八、時、三、十分、分、の、汽、車、に、投、
物、車、の、全、て、上、り、切、り、と、い、ふ、と、い、ふ、と、い、ふ、と、
節、の、節、に、及、び、し、道、場、に、と、い、ふ、と、い、ふ、と、い、ふ、と、
に、た、り、別、室、に、と、い、ふ、と、い、ふ、と、い、ふ、と、
五、四、四、十、五、日、節、の、節、を、す、

十七日

時、今朝六時起床、一時、大、事、配、り、
九、時、三、十分、頃、着、衣、し、物、也、今朝、の、新、年、節、の、
小、座、を、金、と、お、大、切、に、節、の、と、い、ふ、と、い、ふ、と、
四、分、後、節、の、節、内、山、者、と、大、隈、彦、(一、葉、節、の、節、)

片山利久坂上北条本河十三丁等と有り
或る物をも取らざる外に奥方の雲花出放野
更にも程々の物を贈り来り、並木覚下中落
田より舟に後を電降る、一時の古印
劇舎此に列り年未賞典を行ひ洲平演説を
為す、赤城隨筆、今日若干部、物本成り
價二四、十、美佐数、ある三十三頁二千部印
劇、雲上此、坂山雨神と成す、又吹
結文を贈り来り。

十九日

日曜

昨夜四時頃雪降り、今相葉迄白昼

雪、宮の風想ふ、今朝の朝、彼方聖上の御
容、休を報す、御座睡状、造にあり、こと
相せしむ、山肴中、の旅館を、予す、十二時東
美、但、楽部、吉、藤、の、入、立、も、兄、の、一、二、を、贈、ら
先、と、此、中、美、の、役、一、二、の、物、を、贈、ら、し、ゆ、く
横、軟、琢、之、坂、田、城、お、り、擊、た、あ、富、中、田、也
（即、尋、し、し、ま、公、舟、具、石、塚、其、時、宇、部、吉
直、つ、心、か、り、田、あ、家、形、海、坂、口、吉、田、在、美、家
若、易、海、甚、と、ゆ、ら、美、）
お、は、花、念、心、も、集、果、甚、田、花
余、も、納、玉、の、定、の、七、来、り、坂、田、の、巻、め、前
此、男、方、の、紀、念、書、に、送、す、宇、部、吉、真、此

与利楽大の取と本海を造り来り、丹美原手
より来出、丹美を造り、塩真海を造り、塩川を造り

二十日

時、花村宗八内山首三山田、上村宗徳、
次来、内山山田、春城、華下と贈る、大概、
与り、贈り、是集、一、二、三、夫出、以、二十家、春城
随、一、寄贈、の、子、を、出、取、部、と、成、其、の、是
り、先、内、各、久、寛、海、向、負、敬、高、須、苦、治、中、内
田、黄、丹、吳、原、平、神、瀬、向、加、賀、寺、平、三、豊、田
鐵、山、社、田、島、去、大、石、記、田、高、橋、義、彦、村、山、約
三、地、記、田、文、二、中、一、山、田、穀、城、真、路、桂、治、中、房

井一漢大ら、とす、真路桂治、中、一、間、又、者、桂
浅、公、尾、三、間、す、淺、中、一、三、年、出、神、田、の、一、二
色、庄、を、給、め、一、二、の、間、者、を、贈、め、切、り、豊、田
城、山、と、来、出、陞、下、高、神、原、と、日、所、多、強、の
出、り、院、公、後、免、を、付、め、田、原、を、三、列、り、一、杯、を
傾、け、物、を、贈、め、天、吹、の、使、め、二、巻、す

二十一日

時、陞、下、神、原、七、徳、不、春、城、徳、華、下、の、後、先
初、支、院、三、揚、出、改、上、山、花、自、り、注、射、を、施、す
久、須、美、香、を、来、出、中、島、寺、次、中、の、計、三、極
す、大、石、記、田、高、橋、治、中、一、程、指、宗、八、本、森、原

美術家来泊、久須美、池草山湯を遊る、紅毛館
河留も自志の寝舎も罷り来り、田代身
以て来り、木炭代百十石の仕拂、思ひ出る
寺の存好二十枚早稲田等の積り物
送す、真治桂次郎より来出大概水電二系
紅毛館河留の御忠を尋ね、大隈侯八十五年
史二冊配本

二十二日

取崎、田村壯治より、楠瀬、中平寺、元重、横
瀬、琢二文、三島功、楠瀬も近刊自成一系
帳と寄り来り、星上七系系北、大隈、由

郷の光悦、茶碗の印刷物を寄り来り、大隈
新大中、もも、杉、桑、茂、成、有、祝、物、を、贈、り、
中崎、半、次、中、香、典、十、日、贈、り、十、時、印、刷
令、記、に、精、主、信、守、を、公、ら、せ、提、案、を、可
決、り、骨、具、金、を、十、九、百、七、十、五、日、交、換、券、に
二、百、五、十、圓、受、領、寺、院、元、重、春、城、池、草、等、に
老、す、と、印、刷、令、記、に、在、り、増、田、坂、本、往、り、
森、脇、と、大、隈、侯、御、記、欲、布、其、他、の、事、に、向
議、す、春、城、池、草、等、に、分、け、し、一、二、三、頃、果、然、
三、中、高、崎、米、等、を、横、瀬、琢、之、大、隈、侯
別、邸、に、送、り、寄、り、贈、り、の、事、に、出、候、御、謝、
書、押、付、候、御、記、を、公、に、提、案、を、可、楠、瀬、向、り、謝

金七十圓贈る、内中十圓は義利社并莫全徳
向新派金二十圓由あるも信頼の家額押
其毛料也、横濱政之、已状を是す、此生に之を
付あり、海木本真珠店を以て其の汁前日記
又の真珠指輪を贈るに二つ、八月十五日内中十
圓前金拂入あり、其の、伊那赤坂で四つ、田
原屋に改し、七つ、早高宮号月誦、又刻
りあり。

二十三日

町、天吹有、三子、長崎、徳吉を贈る、改上印の爲め
注材、素より、古印、副合社配由金一割此を

額六百十七圓也、受領、改印、改上、素より、日高、只一
官階の洋の長、不足、三、位、田、与、此、就、職
の件、元、其、注、楠、瀬、日、年、又、此、也、素、より、金
三、百、圓、吳、階、元、二、百、圓、海、の、揚、向、子、交
付、七、百、十、七、圓、五、十、七、也、銀、行、へ、積、入
、淺、倉、屋、も、も、南、海、文、集、三、冊、も、贈、る、便
四、十、圓、也、余、が、海、軍、出、版、部、の、人、と、交、送、せ
し、の、故、も、も、の、廿、五、部、外、に、十、部、三、文、人、女
子、大、字、少、年、姿、也、金、三、十、圓、高、附、元、持、卷、三、
時、久、江、主、の、秀、人、と、自、初、奉、り、同、乘、杉、並、村、に
別、り、中、島、幸、次、の、の、先、列、式、に、臨、む、向、金
少、久、江、主、田、と、松、と、枝、に、飲、み、甘、解、家、に、極、る

時、大坂枝友六郎守大印、才藏、徳也、
と、是、天、徳、因、身、家、事、し、来、出、能、保、を、著、す、り、
関、方、中、も、も、い、年、也、文、行、者、を、功、を、回、者
を、始、に、三、十、内、物、入、更、を、浪、者、に、浅、人、
包、を、始、を、回、方、代、方、十、六、月、廿、二、三、日
回、者、を、始、に、是、因、に、酒、飲、し、り、也、
上、帝、突、然、也、軍、外、から、す、御、危、篤、の、摸、摸、
動、り、也、あ、り、出、つ、い、早、急、を、も、始、り、来、
り、ま、の、比、に、お、舞、く、大、丸、の、東、條、久、壽、也、
来、古、不、在、中、春、湯、を、の、送、山、波、に、其、流、
上、也、花、ま、り、の、印、に、浮、射、を、始、す、

二十五日

改元元支昭和

聖上昨夜一時二十五日、
歲、新、帝、直、り、又、御、終、祚、改、元、元、文、と、定、
ま、り、先、帝、を、大、行、天皇、と、稱、し、奉、り、御、
遷、座、の、并、七、八、日、の、頃、御、由、京、の、御、祿、定、大、葬、
儀、に、二、月、上、旬、御、木、練、兵、場、に、行、つ、た、り、
定、御、陵、築、の、府、下、浅、川、に、建、立、本、日、より、五、日、間、
慶、朝、御、出、せ、り、御、即位、の、式、の、後、年、行、は、り、
し、在、大、要、月、也、昨、夜、三、時、に、新、外、四、言、に、
元、山、御、分、所、院、式、延、期、
新、は、坂、口、も、も、榎、川、を、始、り、来、り、又、中、木、部、に、始、り、
り、香、邊、の、鞠、漬、を、着、せ、来、り、枝、木、尾、松、樹、中、釣、

手と世の為の来り各野彦、十左衛門を
郵送、世山誠、漫談の況、和年、の揮、冷、の文、
才、治、伊、原、伊、吉、山、湯、の、才、を、折、り、世、帯、鐘、を、を
求、即、雁、丹、心、と、判、し、を、送、り、高、崎、未、峰、和、因
為、吉、を、し、喜、賀、隨、筆、を、を、送、り、冷、海、也、列、り
御、山、兩、部、二、の、ま、故、書、を、表、し、印、創、會、社、今、日、休、業
す、和、文、文、三、に、皇、三、十、國、を、す、前、に、先、文、と、改、元、の
旨、を、記、し、冷、の、昭、和、の、誤、二、付、に、心、を、毛、利
宮、考、来、訪、旋、報、を、著、す、本、林、臨、来、訪、本、城
地、筆、を、送、り、列、に、一、部、田、村、杜、次、中、に、を、送、り、州
美、原、平、ら、と、来、出、松、ヶ、枝、ら、と、葛、田、葛、酒、等
打、刺、来、

二十六日

兩、朝、来、人、も、涼、か、と、餅、を、搗、く、早、稻、田、大
言、ら、し、の、井、七、の、奉、懷、式、を、行、ふ、吉、の、道、隆
判、り、高、須、芳、次、ら、ら、と、来、出、山、崎、市、街、筋、に、
春、城、隨、筆、を、送、り、雜、報、を、送、り、時、を、後、
に、阪、上、山、花、ら、と、江、敷、を、受、く、内、山、有、三、ら、
吉、隨、筆、を、送、り、集、の、卷、首、に、叙、ら、し、と、序、
文、の、稿、を、送、り、八、枚、城、の、再、校、を、受、け、る、
平、後、春、の、志、待、難、報、を、後、に、韓、傳、趙、松、雲
の、吉、蹟、を、討、り、久、吹、外、都、氏、ら、と、抽、を、送、り、
来、り、本、日、市、院、の、開、院、式、あ、り、首、お、新、帝
の、勅、語、を、捧、讀、す、勅、語、中、に、大、統、統、継、承、の

語あり、今付の二巻未出浦和より又と書きたる

二十七日

晴、内田黄毛を以て忠告列又、高田より來り、内山
百三石、此時、朝、余の旅行を載せんとし
才、ゆ、二月一時、余、才、子、報、せ、し、た、お、馬、由
也、日本、内、日本人、二、大隈、英、八、十、五、年、史、二、の
き、余、七、排、藩、者、一、文、を、載、せ、た、る、を、自、家、の、悲
恨、を、情、免、と、す、る、卑、劣、の、度、平、ら、う、と、し、る、を、あ
之、ん、と、就、こ、の、高、田、三、三、三、関、し、森、崎、兼、三、三、三、須
車、の、協、助、の、去、来、折、文、と、高、須、三、三、三、方、か、せ、森
陽、の、名、義、の、二、出、せ、ん、と、し、日、二、由、合、十、三、三、三、お、折

馬三光一との揚子江の増田と協助のこと
二決す、出版部より、近刊、四種、文、の、揚、子、江、の、事
二種、種、本、も、二、冊、配、本、新、刊、の、吉、田、信、貴
より、來、り、の、田、代、良、成、の、來、り、の、廣、井、一、の、來、り、の、
徳、華、論、を、書、き、の、事、を、し、る、漸、々、と、行、民、の、
横、濱、振、之、の、來、り、の、事、を、し、る、又、加、賀、五、平、三、の、出、刊、の、事、を、
夜、大、行、天、皇、還、政、事、一、新、幕、の、日、記、

二十八日

晴、早、六、本、林、崎、七、條、の、増、田、義、一、も、本、町、の、
三、三、三、の、お、馬、由、也、に、對、し、る、こ、と、を、揚、子、江、に、信、り、ら
大隈、英、傳、記、飲、本、の、方、法、を、運、送、の、方、法、に、
及、ぶ、法、の、場、回、と、揚、子、江、の、日、お、馬、七、大隈、英

こ扱せし得事をも言ひ今ふたむねに御定に付日本
人の扱書に記ししに、雅量をも以てし、取し、問ひ
せしことより内決しと去る、亦、須苦、決り、を、松、
枝、に、扱、し、伏、し、且、つ、飲、志、又、前、由、志、関、大、り、
し、う、未、書、の

二十九日

昨、心、の、室、蔵、と、し、相、見、の、儀、等、ち、及、召、さ、ん、物、
法、七、物、の、今、朝、の、取、り、し、も、お、観、相、見、
所、解、の、氣、さ、り、し、静、こ、ま、後、点、赤、ゆ、ま、こ、森、
脚、長、村、田、藤、合、の、名、存、交、り、ま、り、あ、る、谷、さ、
房、も、も、謝、書、書、列、し、九、十、山、由、子、文、行、冬、

より、種、々の、早、も、書、品、を、贈、り、来、り、春、陽、光、の、
世、也、親、一、波、海、の、次、初、年、の、奥、附、り、り、ま、り、
波、山、田、及、城、も、亦、出、直、と、名、の、頭、病、を、急、
三、時、次、後、に、就、く、漸、く、し、し、神、經、病、も、り、る、を、
久、以、来、や、難、の、も、美、の、室、妻、氏、四、年、の、而、後、
久、寛、より、地、事、子、を、贈、り、る、取、出、列、さ、

三十日

昨、野、部、神、任、病、小、快、時、の、記、床、辛、也、よ、
り、例、の、如、く、し、も、書、物、と、し、し、五、十、田、五、り、未、
る、者、の、病、三、り、書、の、物、物、を、贈、り、て、去、り、谷、
所、も、如、り、ま、物、を、贈、り、る、十、時、ま、え、を

此の神田の土器の品を見日本橋町に於
て採りてゆく。ゆき後旅帳を著し七時
を移す。未時大隈邸に訪りて昨の赤馬引之
の款末をすまき来り報す。名を言ふ加賀田近江
守の持地五三郎の日本強國地仕向論を
贈りて春成徳業を著す。大隈産の款
一七前田屋壽家に移せり。一七
古物本古語拾遺一巻著い受く。福名寺の
花山あり也。大隈産ハ十五年史首巻を
巻を後ら今漸中と手又二編く。五ヶ年の
昔。一七初めを著す。於に入平之記の中世に於
け。此書と此今との關係を後ら。一七後本述

神田一七の産沓料七十四山拂湯、三日月銀
行物に金引出さ

三十一日

此の朝暮須苦中十時を移す。由也。日本
人の揚敷一七余と方類を撰後し。此記の
二つを撰。己の不可を言ふ。余はハ軒巻の
傳記論布。一七言著ること。一七。此記の撰
田原を以て更なる。お馬に著し。元後の高麗
を著す。一七。此記の撰。一七。此記の撰。一七。
乙五。小久江城一合。此の撰。一七。此記の撰。
古河城。此の撰。一七。此記の撰。一七。此記の撰。

を治す未だ午後昆虫の文治中の病を治す
亦頭痛と云ふこと一腎髓に痛根あるを治
えし病態難治なるも一二の病態も保身しぬ
の熱あり、新在に公氣進むと云ふ、一月二日
大さな病状に入り真錫志士の治療を云ふこと
いふ、神田に田下村に昔より有る物代万吉の
佛湯、涼瀾の中の大晦日、松も度々し、何と
も簡素を旨とす、而も家人の迎ふ、のり
に、松し、矢吹坂と云ふ物を贈り来る、又、松と
供に、松し、松を分け、除夜を味ふ、松和え
年一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

毎年日誌の書に、又年の要件を列叙する
を例とし、り、本年殊に録すべきことあり
前日、潤を得て録し、その、雜著、清
潤、雜抄、第八卷、に、あり、候、の、を、こ、し
又、再録、を、し、他、日、必、要、を、生、せ、候、を、ん
を、見、る、し、

小幡慶日誌

昭和二年一月以降

一月 丁卯

元旦

大抵中一節歳暮の例に依り天氣漸々曇り公
朝破例居蘇を嘆き而して重歳を辨す
能く其爰に二十八日迄を以て年首二十日間
ニ随筆の稿を整理しつゝんことを欲
す、学術を想ひく此頃の過迄存て神工一週
万済在すまきか、初来賀定例より謝に

難ねを著し、前夜男十一時三十分、其の
病に昏し、飯後旋るを供す、三時迄、其の
別、睡て在候、三時迄、其の天吹と久、つと、
紛の事をも長時、百話し、夜、入り去り

二日

時、朝、飯元を供し、神田の、所、自、を、二、葉
子、を、解、の、日、熱、海、に、行、く、こ、の、ま、に、付、ゆ、又、是、に、
と、ま、さ、さ、し、日、本、信、報、電、を、送、を、報、集、す、市、や
別、り、家、病、者、中、央、信、報、局、の、電、報、を、
二、酒、飲、す、然、つ、も、去、ん、と、す、こ、の、佛、に、控、家、に、お
久、の、運、子、に、付、え、と、ま、さ、さ、し、今、令、し、カ、ラ、ウ、ト、フ、オ、ム
也、又、り、一、二、訓、誨、す、こ、の、ま、に、若、千、の、金、を、送、り、
と、別、り、也、中、夜、四、府、津、高、の、電、報、事、
の、日、熱、海、行、を、報、す、其、の、後、日、熱、海、
に、行、く、ゆ、し、申、来、り、

三日

時、今、相、越、へ、行、く、故、に、こ、の、ま、に、行、き、を、と、り、不、坪、内
、羊、美、島、の、丸、輪、に、こ、の、夕、暮、を、持、参、り、先、停、車、
場、に、送、り、来、り、九、時、五、十五、分、別、車、に、四、府、津、
に、行、き、午、夜、を、志、す、こ、の、ま、に、一、時、半、に、海、道、を、
送、の、在、に、別、え、ん、と、す、こ、の、ま、に、道、を、送、り、
市、中、に、散、策、し、つ、と、あ、る、と、出、遇、せ、り、あ、り、七

其列在：到る道邊と法話中井上辰丸や
入り来る、魂をいと世に例の無駄書：時
と移す、道邊と近御四五首示さぬ
海軍年大空業、東京の林業、似す
魂會皆夫を以て講つ、おれ妻ぬ氣候
也

四日

晴の日、法印刷分記：如業式を行ふ、法
長三場：病み列示演説を為すを例とす人
演説中、まんを為すを欲せし久江吉田
電信を呈せし昨日の事と併し巻る、後

道邊と放棄す、許次龍筆：就て道邊の
意見と河の道邊の説余が意見と余と
一致す、道邊の石に似流廿年法親父画し
り新双六取也盤と題する、あゝあゝ的
道邊の案し字、あゝの、余の初め見る
所也東京完養に程村一をを為しるを
托す、午飯後道邊とせし市中に出で、高四
は峯の四府津とて来ると思ふ、三人鶴堂
程時と改す、道邊其の選集に自家の年
譜を入るとし、余家の代の事といふ、折々
す、吾等友人交に記憶を山り流す、往々捧
腹のことあり、法話中、井上辰丸の合し

晩香を興り、高田九時辭去、道邊あり
芳ね一胸に、痛を感ずるとも快開の氣を
し、高田を後直に臥す。

廿日

ぬ時、無月、繁き啼く、東京に在つて、真朝、咳
密に困し、おを侮とす、余、赴、あ、事り、あら、
き、温、暖、お、陰、也、今、朝、も、是、様、お、の、熱
さ、け、い、い、薄、守、中、に、在、り、昆、田、の、病、状、を、田、中
秘、持、に、報、じ、二、の、夜、も、又、鳥、の、子、を、云、々、し
一、書、を、書、回、す、十、時、散、葉、井、上、辰、め、り、を、抱、口
秘、持、に、訪、り、方、所、を、終、に、お、折、り、て、已、安、心、也

の、傷、當、を、治、む、膏、も、流、す、十二、時、三人、自、親、車
を、罷、り、込、海、未、了、ん、二、列、り、合、ら、す、と、興、り、ま、す、
守、尼、北、ゆ、ま、ゆ、坂、を、嘉、次、送、天、皇、と、合、さ、す、
合、後、未、了、ん、を、出、て、お、兼、葉、物、金、に、就、く、横
濱、附、近、に、合、議、地、の、託、名、上、り、も、兄、村、に、
秘、持、の、一、編、と、洋、領、の、あ、ら、し、も、お、松、平、頼
壽、伯、母、桑、下、の、別、荘、を、兄、亦、高、塚、と、く、ま、
寄、り、ま、田、原、も、い、海、野、と、寄、り、を、い、ま、す、
と、お、お、を、照、ら、す、こ、と、も、お、め、ら、す、余、の
病、し、お、る、ま、入、房、出、つ、き、ゆ、ら、す、を、不、便、と、し
其、の、熱、り、お、ら、せ、り、お、時、百、日、夢、を、流、し
八、時、罷、り、て、お、途、中、お、品、危、し、上、宮、の、八、時

米道思の在二物一其臥す、主人病状預快

七日

時今朝七時起床、坐すも身体重く、頭即こぬ
少の疼痛をさへ、便所亦一矢の不快を感す
夜前おき、ゆり夜無き、出さるん感、冒こ
罹り、ふか、十日、思、思、の、首、三、五、九、の、漢、出
こ時を費す、早急候、考、中、の、也、思、思、也、き、素
る、此、三、世、傳、を、こ、就、し、話、す、亦、昔、者、に、今
書、を、漢、の、梅、園、の、注、入、の、言、を、乳、乳、あ、る、り、
叱、息、後、直、に、臥、す、直、睡、を、い、れ、ん、を、あ、ら、う、の、熱
氣、あ、る、り、あ、ら、う、寝、わ、ら、な、か、余、ら、い、何、こ、も、の、其、を、を

法也

七日

晝、七、時、粥、を、食、り、直、迄、と、臥、臥、候、温、熱、を、保
り、と、休、候、と、後、了、り、三、十、七、時、あ、ら、う、余、ら、ま、は
り、五、分、も、し、好、美、ら、を、食、す、候、こ、は、ま、ん
ハ、漢、の、節、の、疾、痛、を、さ、書、の、右、に、記、し、候、也
を、漢、の、亦、ア、ス、ピ、リ、ン、一、錠、を、服、す、午後、本、道、人
権、東、系、く、り、の、疾、痛、を、治、す、候、を、治、す、三、時、体
温、を、検、す、三、分、程、下、り、久、し、く、病、を、得、さ、り、し、也
地、漸、や、く、病、を、高、く、し、来、り、海、山、模、範、に
り、晩、の、疾、痛、を、治、す、候、也、反、こ、る、疾、痛、を、治、す、候、也

退つ小松の殿の蒲侍を寄こし、よあつて
日の下は早く臥す、夜半も又風おこ

八日

時今朝氣過六十二分、余の体温三十六分
道遠上人の病を下痢の者、今も余に在り、坂
本嘉次馬の病もホタル、今も余に在り、見
お馬由也の病も治して、閑に乘し行
幸中、帯の随筆の稿を終り、午後
道遠と別話、道遠元氣の回復、室内温
七十度、午後亦、草稿を終り、家信、稿す

三時、体温を驗する、平熱、夜も快好、
早々臥し、物を得ず、休む、木部、笑の
●圓を誤り、大隈、五平、笑の、
午後一時、病氣を去り、又、病氣
松平、病氣を去り、病氣、病氣、病氣、
す

九日

時、今朝氣、市中に出る、おを、
偶々、病氣、病氣、病氣、
友も、病氣、病氣、病氣、
関係、病氣、病氣、病氣、
病氣、病氣、病氣、病氣、

此月一日の如く... 一、時五分の汽車に後す、
 汽車二番に乗る。湯田丸に乗る。又一層を跨ぐ
 都下の回書と読み向を忽す、四時車
 東京着直にゆき、都の温泉に降りし車
 此のとき大雪をこえ、と家族をよみ、不在中余
 の始終に傍る。段法の流布す。出政成り五
 郎とす。すまひ、余のすまひ、池のすまひ、出政後未
 九二十のとき、早く初政二千部を
 リおすと、出政部の故を、且是かの思
 在男、不在中、入院中の回書に、刃、おる
 をまじしとす。校反ち地旅、すまひの流布す、
 丹波、泰子、高橋義彦、と出京と載す、其

二、大政六回、用字大なり、八月味増を贈り
 来る、藤原志穂を贈り、字巻名の出す
 二、揚生、未、後田、外四五、未書

十日

昨、阪上弘君、おのゝ家族一同、感冒症
 障注射を受く、余も患ふ。子に、おし、山田
 花の、新永、おら、出、麻布、未、元、長
 東、信、萬、都、前、田、島、子、代、也、未、知、人、と、也
 著、い、就、七、未、也、何、ゆ、校、向、又、山、田、花、に、一
 也、を、お、り、お、ら、ゆ、也、か、日、本、人、に、揚、載、し、此
 證、理、の、文、に、横、掛、し、毛、利、甲、二、の、名、日、を、以、つ、し

高須若方より執事等の并殿書名福列
来このまの後にす。午後一時大隈彦別郎
に到り先房の五年祭に臨む完成の八十五年
史を侯の正前へ奉ぐ。先づ皇國四寺内の菓
前祭を以つて初より三時別部の靈前祭
あり四時やむ。諷刺中(一)持二脱(一)
者の心あるを言く。高須の知人倉石知
花の詩を言く。夜来也

十一日

楠瀬日年 逸書 進集のつとまの貨
付の本三程五印 更に二程貸付 龍村宗八
此部外の件に於て其部中の有るに
四印のまゝ 租税拂戻の(一)毛(一)物物
而して掛戻も(一)印(一)を領す。又江成一
印午後陽着。又その(一)集(一)の巻頭言を
著し三時間を費して成る。丹美(一)宗(一)
の巻の倉石知花死去の(一)事(一)を
大改六角字に(一)記(一)す。又(一)條(一)の
先(一)の(一)市(一)河(一)三(一)陽(一)の(一)部(一)に(一)攝(一)す。

十二日

時 素陽美樹大隈彦別郎著の(一)日(一)本(一)功
楠瀬日年(一)の(一)逸(一)書(一)又(一)の(一)進(一)集(一)の(一)序(一)言(一)名

日十二枚交付、又頃美雪を身物梨果を贈
らる、吉田在任美雪松本高橋義彦も
寄る未だ、早稲田大宮も十五口御成祓
汚穢漢式を行ふの通謀到り、市河三陽
死去につき口申状も其の事、昨の税務
向も租税の拂戻通知を得ず、但し余夫の
今いさしき、昂と元の分の事、同一家族の
まも分割し、寄附したる何らの問も、
ら動やと人も高へき、やれし、不を著の
か、未調査満に別らすと、傳ふ、十因迄
らり、録取し、未だ、税務署も調査方の
局、田のり、昨年十一月七元、わ、年間

取ら、このめ、官務の思、こと、一
と禁する、終、午後、帝大、痛、昆、
痛を、胸、而、人、を、得、ず、
極、の、ハ、肺、尖、其、他、の、故、を、保、
の、患、部、癌、の、疑、あ、る、と、悲、
去、つ、て、美、術、院、を、行、つ、て、
昨、今、画、し、つ、つ、あ、る、早、大、
も、見、る、此、の、部、下、の、形、を、
の、行、程、を、冬、観、せ、し、
生、家、山、元、野、平、三、
行、也、も、語、る、夕、刻、帰、宅、
ま、る、

十三日

昨朝未だ霧もあらず。田村社にや。今霧も
今夕の雨生れ。保体合社とて傳入。是
の動脈。付来り。弓馬の正也。越前子城
内道。是に漫談。初年。丹善。家老。
他。兼。山。湯。を。郵。送。す。宗。都。宮。直。時。も
托。を。贈。り。来。り。久。岐。宮。の。物。こ。り。件。の。光
を。吹。く。老。す。ゆ。中。身。を。散。告。を。受。く。光。を
拉。し。七。銀。舟。に。酒。飲。し。七。悔。す。

十四日

昨大石記の事。所得税徴集。川。二十時。自。記
車。を。返。り。九。時。井。に。到。り。物。本。類。考。の。母。を。の。書。別
式。に。臨。み。大。隈。飯。を。度。り。行。村。本。類。考。本
を。會。も。七。時。時。子。に。送。り。大。隈。考。八。十。五。年。史
取。資。方。法。を。用。意。す。下。田。林。家。考。す。

十五日

昨朝。未だ。霧。も。あ。らず。先。を。送。り。子。に。送。り。久。を
送。り。一。時。間。に。乘。り。七。時。を。越。し。七。時。と。終。り。
並。木。号。紙。廣。告。の。事。を。出。す。吉。田。香。久。来。訪。春
陽。寄。り。一。時。山。城。上。の。物。漫。談。初。年。の
編。纂。の。儀。を。七。時。五。十。分。持。た。り。大。隈。考。の
り。久。の。狀。を。報。す。行。村。本。類。考。の。事。を。送。り。吉。田。香。久。を。豊

田邊山より三つ色 夜来風起りかゆ

十一

えのいし身氣候温暖凌きやまきく流行風
胃腸痛却りて患者三十七番を数りて世界一
般の流行といふ川上流二戸より南流四年
身より余の才二隠著りの揮画に於てす即
ち五枚墨仙に押さるる光を揮りて筆を
物と相れ非きあはれし武花の空
の映畫をえり物より田原庵の絵を
不世中の美事なり其の筆の不動の態を
知りて又今此の作由集を贈りて

在りて山某の山今も摘州の早稲の
報余の思ふ才九回と掲ぐ又石油時載春賦
雜淡才一回と掲ぐ不左中田氏其の
思

十七

時木林陽美指才の鐘をたてて其の中
此大漫展徳記の伴に成り杉山を義
中分再芳を重徳とすく五十時旅の
種々の乾物を焼く事し川流を漫後
を取てて色に三つ七葉を元へし高須
其方の中二漫展の流初年と贈りて散葉

二書店を訪ひ又陽物里、秩父宮御内親
漫談の流初年と後也

十八日

晴、夕朝七時地、居る候、七時し、坂上山
岸より、海防注射を施す、由子免を以て歌
鳥の夜生くゆく、お海望三、身、口比、田の病状、絶
望を敷、税務管理、向う余、七、島の寒、尖
の陰の秋、後拂、辰、色、初、列、五、来、欣、送、工
、来、也、日、信、生、原、係、次、を、信、入、四、午、日、二、免、を
、利、子、二、百、圓、納、付、田、中、理、を、訪、ひ、大、隈、侯、侍
、近、候、市、の、件、に、言、語、洋、行、賣、の、件、等、を、話、す、

上、時、表、永、次、昆、の、大、島、と、名、出、家、子、島、功、同、氏
、新、多、記、石、帆、是、國、南、次、島、功、如、此、中、一、不、過
、午、後、五、時、有、あ、る、税、務、署、に、移、度、を、受、付、此
、の、金、額、三、百、四、十、五、圓、也、左、記、の、帳、付、入、二
、百、圓、引、出、す、午、後、間、に、乘、一、七、骨、董、を、懸
、理、す、借、手、より、文、行、書、を、訪、ひ、三、三、の、山、の、懸
、と、懸、山、二、十、一、日、只、下、免、掛、五、圓、名、前、に、領、す

十九日

晴、風、守、休、美、為、出、京、鞍、を、懸、三、懸、保、を
、す、四、代、免、中、江、越、稻、橋、を、持、卷、春、御、免
、甚、も、其、子、女、の、御、免、の、上、に、支、店、免、古、懸、某

耳接 関大の... 午後九時迄を待たせ
散策物生に物を賭ひぬり回厚命に致し
ゆり... 大工作... 角花... 即日...
改築の事をも協議し... 角花... 九時迄を
いへしを命ず

二十日

晴、程村宗八山田清元森脇夏樹東流院
録を著しす。預金三万圓引出向石田兵衛
代向子三交付、午後散策本心下谷の古物
を眺めし二三の回者七時、又本心、春本町
ふら屋、地方玩具館を眺め吉井若原
本心不用海義録と書神丸、新河東林と
り曾祖父二十七年、祖父七年忌の法要兼
利来、文行書之、前田傳助宅の内十四時
政府本位任、東海会に上程三日、前津會を命
じし、物より昆田危篤今夜出つりし
由報もよく、京都大層徳城、下鴨より四六
より、幾年、雨の年、講を定めて、七時、日比
を、坊の、睡、枕、中、守、方、命、に、入、り、永、決、を、着、其、古
河、男、の、校、方、而、の、回、人、多、く、来、り、今、五、十、時、家
二、地、の、の、朝、来、り、持、り、地、方、へ、き、持、込、也

二十一日

時、大軍をこへる朝未、外軍を奪ふ。今朝の勢、
紙ハ三堂、首命見の結果、改定を止めるの打協
成えとす。報す。昆田今朝の持証をと報
し、未の春城、愚者中二敗成る。九時、昆田を流
れて溺死の状を見。塩津平沢も、西大久保、
目録車と駈り、杉山重義の痛を初め、
七中、内五、内溺死の状、
、引返す。一時、
後解、
電、
協、
美、

此のころ、未、
茲、
行、
赤、
矢、
兄、
肥、

廿二日

時、
田、
と、

玩具を贈り金田に酒飲し川流船に七子位に
到り小魚の存やきを贈り物取寄平一
依り祐楽殿に出し田原殿に物取寄し七
へふ不支中しり此物習を身取

林三日

日

一ツツ其氣ありく池の凍法研
六凍の押是の為は度々せり墨汁
一枕凍つて用を為さず今朝余夫の
もく突れ長めあふる、夜前光の空に
今日宿しおるや、光の掃葉をこし
突上
突家、出入し得ること、日らしな也長め

極く、秋不夫吹の家と家政を助けの
也、玩具を教へて其の遊びに玩具の
ことさし、河原相見其の遊びに玩具の
菜を贈り来り、城内と連帯日を玩
と昆の、贈り来り、土田亦其の遊びに
贈り来り、一時も昆の、其の遊びに
まかあり、其の遊びに、其の遊びに
其の遊びに、其の遊びに、其の遊びに

井四

昨今相見其氣取甚、程村家八生取部より
入札の結果を教へ、早大の是福本物

外一人余の押し置をも需めを去る玩具を教
理す今朝三時杉山重義遠近の報をよみ
村山初し助来流者崎元重もからざるを
るる黄の危もも不問海義根賣印氏林也
請示四時より外出下谷の文行をを初し
東之の梅川に村り團體合に臨む此夕高村
先雲浅草の昔を語りこと物二時前合
しつゆ一ふ文の巻に十四日者あ代支拂
余の書の存も東山と物之の長一南中
夫公論に出づ大山都久辭任の侍につき
早大さ生懸授

二十五日

明古河家より使者をも昆田從五位：叙も
九日吉也知とよみ、南二者の由訪に出づ
破格の河伏もも、廣井一に南上り
木村脚車も、廣井六南上り物を贈るも物
山重義く香典二十圓贈る午後杉山高
備に利り日記の幕儀に列す淡路より告
別式に移り一時可也俾、三今幕幕高二千五
百人四時日を指給生に用を告るも由也
直つ高桂次りもも、高物に物授に
村の後の維持費令をひらくる(陸列る
岩みお波もも)

廿六日

時、寒氣和く、真珠、粟米、紀州の南方等
楠、京都の大臣、徳城、出城を告げ、田中徳穂
東、治、時、今、早大、信、樓、二、つ、洋、細、仕、未
を、聴、取、教、授、奉、の、洲、者、後、珠、高、橋
治、本、の、恒、者、努、く、こ、進、つ、こ、よ、あ、う、余、病
根、と、致、授、令、親、則、こ、あ、う、と、う、し、お、口、の、維
持、有、令、之、の、を、改、正、す、る、を、心、置、と、し、田、中、の
川、表、と、受、く、改、多、里、成、立、中、と、其、他、等
梟、果、の、目、を、告、せ、来、る、立、初、海、の、話、の、為
電、し、お、口、の、作、持、及、令、こ、出、席、を、と、と、し、今
井、一、郎、来、病、漢、改、高、松、の、度、漱、和、彦、こ

巻、を、進、ぶ、長、の、も、朝、野、玩、見、并、二、異、一
筋、を、贈、り、来、る、雜、紙、を、奉、す、午、後、二、時、抄
杉、山、重、義、の、先、別、式、に、臨、む、四、時、半、由、電
今日、早、校、教、授、令、も、大、山、の、辭、任、を、可、う、と
す、る、こ、と、法、定、十、六、人、中、一、票、を、と、す、る、よ、う、な
り、ほ、ゆ、し、百、三、物、系、し、雜、紙、と、お、の、答、電、あ
り、中、央、公、論、社、も、余、の、答、電、を、お、か、し、二
百、七、十、三、の、用、の、謝、金、を、お、し、り、来、る、昆、の
電、致、致、致、名、を、お、し、り、来、る、後、校、檢、査、不、及、矣
家、へ、ち、お、し、り、お、し、金

二十七日

時、九時、早大の維持費令、に、列、早、令、去、久、席

二付余代現しり方の給揚二つを其事の徳を
り方の(分)二百の報告二つを、極少の予
部長を不都合ありき西も務負弁弁
其為の清阿を云納くは、類末の報告を
リを最善全部を是現し、教授を規則
の解籍を決議し、昆田や崎に動すの事
校の仕向を評法し、今事を先ずて、数分
大隈君を以て、銀物志の縁に挿入し、
老彦の(分)を以て、余の徳記編纂
二五七(分)を以て、完成を告げ、
此紀念品を以て、直に徳を以て、
其、徳の二つを以て、三日に入、
六万の川出す

林八日

大工井淵君の改選、
協議す、提原次郎、
其、徳の(分)を以て、
内直送、
時、相夫、
三十二日、
の二序文を、
筆、
午後、
協を筆、

神宮神田、國方を贈る

廿九日

晴行村中、礼四、山田、法也、寺、功、の、四、川、以、文、を、報、き、家、元、改、送、の、き、方、位、を、場、渡、才、山、以、有、三、も、来、也、近、松、秋、江、も、信、託、せ、ん、以、余、の、神、毫、教、紙、山、田、に、托、し、老、る、石、橋、思、案、の、託、に、接、す、十、二、時、光、を、付、け、し、記、せ、二、三、の、物、を、贈、り、昔、案、に、致、し、を、切、る、上、野、三、永、次、来、功、夜、に、今、も、の、志、つ、来、る

三十日

日

晴、喜、来、也、志、つ、と、考、る、相、違、子、に、久、を、訪、れ、談、多、也、沢、中、一、二、海、出、を、見、る、石、橋、思、案、死、去、の、き、悔、状、を、見、る、注、田、元、也、口、傳、印、刷、し、入、社、し、る、身、来、出、才、二、隨、才、の、首、筋、を、修、り、四、代、亮、伏、坂、上、知、老、の、合、祀、の、き、未、流、出、野、柳、子、来、功、物、を、贈、り、坂、田、誠、三、松、毫、を、交、付、道、邊、集、配、本、南、方、常、樟、し、来、前、日、傳、印、刷、の、平、心、結、縁、部、也、功、也、的、石、流、も、美、る、依、に、就、て、の、稿、を、記、し、教、授、を、以、り、来、り、松、に、今、も、娘、氏、也、也

三十一日

明木林陽子、新巻の回、高森流を
来出、時、ついき、紙、靴、の、多、好、を
著、越、し、て、ゆ、ら、を、海、す、方、高、流、去、を、新
し、花、分、を、を、贈、り、来、り、文、藝、春、秋、社、を、馬、海
松、を、也、し、余、の、字、好、を、も、と、ま、二、三、の、物、投、好、を
約、す、午後、散、策、下、り、回、方、を、過、り、西、洋、玩、具
を、携、り、田、原、尾、に、酒、飲、せ、し、ゆ、り

〇二月

一日

時、阪、上、山、花、を、り、注、射、を、施、す、朝、来、文、藝、

春秋、字、あり、と、し、漫、歩、と、文、藝、の、一、文、を、著
し、ま、り、を、消、し、呼、散、録、を、来、出、午後、回、此
田、の、親、戚、不、田、来、治、古、田、秀、人、に、古、物、を、買、り、又
高、原、流、を、二、投、筒、二、時、の、神、田、の、古、物、を、沽、り、
杉、山、二、重、義、我、高、の、計、利、を、道、子、の、又、ら、古、物、を
贈、り、来、り、

二日

時、楠、瀬、日、年、池、中、へ、遊、歩、中、一、巻、上、板、二、行
一、冊、の、早、貸、附、の、回、者、二、冊、返、戻、更、に、数、冊
貸、す、杉、山、重、義、高、の、死、去、に、對、し、村、社、次、ら、十、冊
り、新、儀、二、冊、贈、り、し、る、香、典、十、冊、お、く、る、

作藤澄可子、藤原氏の法月後印を以て
且つ御土文子年表を賜ふ紙の説る者
十数枚言きつ、け完結を告ぐ、早稲田寺
寺に授る十日、唯今令の案内を以て、故上
寺に四日、分判の是記、後令に三時、出
遊、中田寺、故を以て二三の巻を以て、河
寺に三十四冊、田原に酒師を以て

三日

時、風朝来、霜を著す、山田、故、寺、前月
の積雪、本二行、故、寺、中田、廣瀬、和
寺、未、故、寺、法月、後印、是記、中田、福、寺
後、北、故、史、判、四冊、代、筆、二、冊、新、故、寺、入、會、
後、海、午、後、敬、美、神、田、と、因、者、を、送、り、二、三
冊、也、を、贈、り、て、贈、り、後、出、給、り、入、り

四日

時、小、林、上、三、作、故、寺、中、田、山、故、寺、寺、以、文、重
交、り、來、り、寺、時、に、不、給、り、給、り、給、り、者、方、
の、案、内、を、以、て、紙、二、紙、を、以、て、二、冊、故、寺、を、送、り、
新、故、寺、の、案、内、を、以、て、余、が、案、内、に、以、て、故、寺、
原、論、を、贈、り、來、り、改、口、就、書、を、以、て、寺、山、寺、
義、重、の、案、内、を、以、て、代、人、と、以、て、初、め、を、以、て、冊、片
宗、重、を、以、て、寺、方、午、後、敬、美、神、田、関、に、觀、雲、寺

の清洲^{セウ}必集を贈心又奉心^ニ奉心^ノの現見^ニ店
：地方玩具各種を贈心^ニ物々^ノ取上^ニ取花^ノ方^ノ
今此^ノ創^ニ主^ノ合^ノあ^ニの^ノ主^ノ行^ノ分^ノす^ノ今^ノ夜^ノ吊^ノ合^ノ主^ノを
まゝ

五日

雪ふる、旋ねを著す、米堅き昆田^ニ取^ノり^ノて
け^ニ四月^ノの^ノ集^ノ儀^ノ者^ノ全^ノの^ノ儀^ノ亦^ノを^ノか^ノと^ノも^ノ乃^ノう^ノ瑞
す、奉^ノ賜^ノ者^ノ儀^ノ者^ノ儀^ノ記^ノ自^ノ真^ノ流^ノ前^ノ田^ノ中^ノ田^ノ全
を^ノ心^ノ来^ノり^ノの^ノ儀^ノの^ノこと^ノを^ノ記^ノす^ノ午後^ノ古^ノ田^ノ東
入^ノ改^ノ上^ノ分^ノ社^ノの^ノ件^ノの^ノこと^ノを^ノ身^ノ談^ノ倪^ノ雪^ノ本^ノ集^ノを^ノ談
と^ノ有^ノ教^ノ治^ノを^ノう^ノと^ノも^ノ大^ノ工^ノ角^ノ折^ノ家^ノ尾^ノ改^ノ造^ノの
折^ノ金^ノを^ノ着^ノす^ノ、矢^ノ吹^ノ、先^ノ中^ノを^ノう^ノ久^ノの^ノ河^ノ越^ノ二^ノ就^ノ也^ノ
雪^ノの^ノ計^ノま^ノが^ノ三^ノ寸^ノあ^ノじ^ノ積^ノむ^ノ、田^ノ川^ノ、公^ノ状^ノを
着^ノす

六日

晴へも傳の雪も拂ふ、朔未玩具目録を記す、五
十^ノ數^ノと^ノ記^ノす^ノ、行^ノ打^ノ出^ノ設^ノ部^ノの^ノ子^ノを^ノ攝^ノ取^ノして^ノ志^ノす^ノ
昔^ノ年^ノ訪^ノを^ノ儀^ノ者^ノ儀^ノ送^ノ集^ノ者^ノ一^ノ等^ノを^ノ記^ノす^ノ、先^ノも^ノ想
へ^ノ出^ノ游^ノの^ノ儀^ノ者^ノ儀^ノの^ノ名^ノの^ノ記^ノす^ノ、先^ノも^ノ想
節^ノと^ノ見^ノ、名^ノ次^ノの^ノ記^ノす^ノ、由^ノ不^ノ存^ノ、電^ノ氣^ノ布^ノ一^ノ等^ノと
類^ノ心^ノ也^ノ、先^ノも^ノ想^ノ二^ノ等^ノと^ノ記^ノす^ノ、浅^ノ茶^ノ二^ノ回^ノり^ノ玩^ノ具^ノを
贈^ノつ^ノて^ノ物^ノ々^ノ、丹^ノ古^ノ京^ノ天^ノと^ノも^ノ余^ノの^ノ押^ノ主^ノを^ノ承
ある^ノ為^ノ者^ノ也^ノ、昨^ノを^ノま^ノじ^ノり^ノ奉^ノす

七日

時、天皇御山御後、少四十五、大葬并奉りの
日也、御儀、午前八時廿分、始り、翌朝六
時十分、終り、浅川御皮、不御着、前夜二時四
十五分也、今日大教、減刑、後、権令、表、恩
典、以、了、す、よ、の、廿、萬、人、高、救、恤、金、而、且、十、萬、圓
を、給、ふ、祝、者、出、づ、今、の、お、日、廣、朝、古、田、良、三、廿、萬、圓
矢、一、の、計、に、攝、す、ち、木、十、三、中、馬、幼、良、田、の、行
為、の、於、け、り、花、井、儀、三、つ、き、よ、の、訪、石、谷、三、中、馬、幼、良、
身、の、久、の、件、に、於、て、流、し、て、ある、故、ゆ、え、の、里、七、馬、幼、
牛、次、物、七、教、心、記、し、七、時、を、移、す、六、時、満、家、の、社、に、
行、を、為、す、故、時、靈、輜、御、着、り、う、じ、大、三、万、五、

百、圓、に、攝、す、御、行、進、の、功、を、身、に、受、け、ま、す、と、
陸、海、軍、奏、樂、の、音、輜、車、の、上、表、音、階、に、
馬、も、山、御、不、所、也、ニ、マ、イ、ク、ロ、ア、オ、一、二、張、は、ま、り、を、
ん、も、教、送、に、向、こ、も、し、り、て、ア、ナ、ウ、ニ、サ、一、を、行、進、の、
功、を、注、す、余、を、ひ、く、御、大、葬、御、儀、に、奉、列、す、ん、
と、右、此、御、儀、に、都、心、に、大、葬、行、り、ん、と、ま、り、
ま、き、は、皇、儀、と、思、は、る、八、時、三、十、分、靈、輜、並、葬、坊、
前、に、御、行、進、の、奏、樂、奉、聽、ふ、由、十、時、頃、
より、故、天、馬、院、院、一、層、に、御、行、進、の、功、を、注、す、
詳、齋、を、八、十、一、時、奉、進、す、と、御、儀、に、奉、列、す、

八日

八日

時、大森二の森もさきさき今曉多摩川沿道に御
埋葬済しうき通る言ひに承りて、今相の
新式改札を觀入る事十名と報告し、群衆の死
傷二る節と報告し、又以第一令地由る事接
号報二定の事心き思ひ出の由、和子經理の
困難も書きつけ、十八枚成り、午後七時在
院報を著し、箱田肉之助の訴二接す

九日

時、早稲田の思出を授し、告報し、授す、森陽
米流、谷村一太郎も、未だ、左村、春樹、昭孝
も、定の事、午後出の、早大も、十八の形、先
由、北で、觀山大觀を、和子、西二、竹、余、も、
由、北、到、北、川、の、土、記、(寺、五)と、坊
河、縣、の、物、み、村、一、方、り、復、す、地、口
縣、山、大、花、徑、事、外、出、の、件、竹、武、田、也
等、和、子、も、未、接、す、須、芳、次、等、も、承、り、也

十日

時、朝、来、好、報、を、奉、り、十、七、若、取、復、司、の、中、大
立、了、に、報、せ、る、事、後、各、寺、に、古、田、良、三、の、生、火
別、式、有、り、代、入、り、も、文、三、を、考、る、九、時、半、の、内
印、別、令、地、の、重、設、會、に、協、助、令、社、改、道、の、事

井三博資の事未決なり午後改を義流馬
往村東原と傳記の件井三老方若海礼
外件等を攝照三時家へゆき出崎部よ
り先月石出島也四既本を考く不在中不詳
扶公未記新字紙へ報す北紙降雪雨甚
関川田ん道一節雪二丈四尺天保以毎の大
雪を汽車之程生る校側壊新井と
洪六を家守る粉中戸浸ぬと城飯の
みりより加賀縣并紙守り大官主金澤
の御親を校側壊紙中洵も相傳ふる
田附近汽車ある也或方面釋名老人と
軍隊共動人夫雪山崩と恐れ出さるる

十一日

純元

中野と先分相違子に久を記し後上紙為
束つて注射を施すぬ四川と大工角花事
家他中の製紙用をまき田村壯次り
加賀連をいふ行を十外流紙紙を著す
後人の為の二博一書教紙成る又刻は
由改葉葉紙

十二日

病休居候日病勢を危松元醫者十五年前火
災の時を追懐し油恩の為まう物を贈つ

去る。栞志一印をとりて母を十一時に出發。田二
二の書と栞志印を改田原尾へ改す。午後廿五
分夫一の栞紙をとりて行くと栞紙の度
言も完一三時より寝終つて栞紙

十三日

時十時久松有二三身物又の件につき翌日
の後矢吹新元とれ自動車を
浅草の金田に酒飲し矢吹が郊外に
入るとの任か也。外務省の自動車
扱も同乗。栞又の帝冠と書し其
といふ積年一一杯と栞紙を
と栞紙二三を行く。道狭
車と四つとんとも。栞紙に入ん
既主に膠着して動かぬ。道狭の人の
意接を得る漸やと動くと此間一時
既に道狭の道にまき入るハ公名に由る
二就きと栞紙後牛込の栞紙を入り
一回栞紙をとりて栞紙

十四日

栞紙改記一印をとりて校の要件
木澤司大改と栞紙二のまき。宮本吉助
次上の急変。今此のまき。小澤扶公大改

の送部局保蔵の件、二日傍、二日傍、
板本に転段、才二日傍、二日傍、
心、寺崎元香の、
河三湯遠、
其、
田の死後、
枕詞

十五日

片山利久、
二十一日、
を論議し、
す、
山陽の、
あり、
代、
和、
あ、

小雨、晴、春、氣候、ゆる、あ、庭、内、の、雪、や、り、や、り、駐、
 ち、木、定、定、酒、二、間、ま、早、大、も、合、計、取、扱、規、
 則、を、ま、り、集、り、余、が、題、目、を、行、し、る、金、山、
 日、報、刊、行、森、脚、本、の、書、簡、書、を、二、通、交、付、
 田、代、亮、の、所、上、に、花、の、注、射、並、に、代、の、
 件、二、つ、き、返、す、大、工、角、花、の、事、の、測、量、を、為、
 す、河、井、一、郎、山、陽、の、考、に、就、て、其、治、谷、村、
 一、大、一、郎、の、事、を、本、可、健、四、郎、も、思、走、集、
 温、古、集、二、冊、定、の、題、を、ま、り、大、工、改、修、の、
 事、持、込、大、体、可、と、決、す、重、百、圓、銀、の、額、入、
 敷、金、を、渡、す、と、銀、十、圓、の、文、の、書、を、ま、り、
 此、の、事、も、三、冊、土、地、界、も、終、り、の、事、也、
 二、均、等、

晴、風、本、可、健、四、郎、所、得、権、を、行、行、の、後、
 伊、佐、と、ま、り、ま、り、余、の、指、毫、を、返、す、
 来、り、小、久、江、村、一、郎、の、事、を、終、り、
 河、井、一、郎、の、事、を、終、り、小、林、堅、
 三、郎、の、事、を、終、り、の、事、を、終、り、
 二、十、四、日、日、記、の、法、要、に、お、き、九、の、
 内、に、ル、テ、ン、ゾ、九、階、精、美、の、事、を、終、り、
 今、此、の、事、を、終、り、三、十、五、日、銀、の、事、を、終、り、

(七) 関市... 十... 本... 時... 社... 大... 一... 新... 武... 出... 近... 刊... 四... 冊... 配... 本...

十八日

時... 時... 報... 八十五年史の... 時... 春... 十... 時... 出... 放... 都... の... 重... 役... 令... と... 臨... や... 四... 五... の... 件... を... 協... 定... 午... 後... 三... 時... 内... 志... 並... 木... 美... 子... の... 未... 出... 南... 米... が... 一... 三... 日... 三... 日... の... 配... 本... 五... 時... 新... 五... 集... 二... 下... 村... 観... 山... 横... 山... 大... 観... の... 大... 運... 完... 成... の... 号... を... 懸... 念... 高... 田... や... と... 余... の... 前... 日... 探... 測... の... 回... を... 観... 念... と... 行... 子... 野... 原... 親... 山... 房... も... し... 未... 合... せ... ず... 本... の... 出... 版... 印... と... 金... 五... 百... 圓... 借... 入... 大... 塚... 工... 芸... 公... 社... と... 大... 観... 山... の... 被... 製... 綿... 本... を... 贈... る...

十九日

時... 昨... 又... の... 齋... 飲... 多... 相... も... の... 齋... 齋... を... 三... 十... 時... 本... の... 浅... 草... 齋... の... 四... 五... の... 色... と... 齋... 齋... 齋... の... 十... 七... 日... 齋... 齋... 齋...

珠璣等々二十七日の物山本方迄く三十日
高井一の者へ接す、高井中の児は
父の血を止まず、喉を切
上は病を治す、見を診す、楠瀬に公使も
公使も

二十日 日

公使の弘平時中以後の安徳等も未
公前田時中を治す、火の病状につま
大親山公使を治す、志装七松、時中
の家書二つと、田村社二つ、其の
二つ、余の拙書を治す、徳田(近松)秋江
未治物を治す、余の拙書を治す、午後

公と云ふ、娘を治す、注射を施すと、
血未止まらず、又、前由來、大来三、
未月、毎、引、物、家、を、治、す、
拾合の上、傷のこと、決す、全、
賢七十五、人、國、井、作、之、
の、計、に、接、す、

二十一日

時、楠瀬の年、吉、吉、此、を、
人、と、云、ふ、は、其、家、を、
を、送、入、す、大、森、
六、原、公、福、田、松、
を、治、す、未、

早大南左傾きの重丸を退きし
の件は田中穂積も電報あり 穂根を
絶つ事断り余も是れ午後書きたる
と散策三時可成る物事 真の真二
巻の母来り二三の拍と答ふ 小西海字也
二冊其の由なり

二十三日

此夜も雪降り急林風強あり 正午迄降り
つく丸の内様免向市警事 法印劇
分此の臨時重役分とひらき 今此の建築
調遣を協会の東連一築と否とし 現状の
修繕 修繕を重役の推移すること 決す
貴田秀人と坂上今此の重役の内湖し去つて
華洋談心録と持し 今日日夜通し未の香
祿檀心礼助も 歌未祀公話を聴く
又別室に 夜通し 檀心我 國海景の
況映畫を見る 真の真 途中し白あを
贈り来り坂上は 宛次の方来診 由山者三
う来也

二十三日

内 久未借家の件 付田村社二の事 振
大工南見積者を持来り 約一萬八

午間也。最初は午間（此の物は主建設から合
 成）交付建前の折込経費の半額派
 し既成の後おぼすの約定也。補給
 日年と概き雅淑事の方：収めらるる
 目を並ぶ、難波現るる。来り午後免
 同休出淑和生、物を贈るも子マニ映畫
 を見外、夢：録して録す。

二十四日

晴、凡、真、竹、柱、坊、并、典、二、三、流、也、と、思、ふ、
 石、塚、三、郎、坊、の、久、次、久、の、道、利、兼、重、松、静、
 の、件、は、長、時、間、流、し、た、ま、う、平、後、教、
 母、の、将、來、の、事、を、懸、念、し、今日、の、人、久、次、久、
 を、去、り、も、八、分、海、方、に、止、り、の、長、時、子、の、
 報、に、室、の、ま、へ、き、大、隈、辰、八、十、五、年、中、史、の、
 八、文、を、著、し、し、如、志、家、ら、も、あ、ら、く、
 比、谷、江、右、衛、門、内、務、長、の、法、要、に、赴、き、日、
 受、く、

此、種、打、合、ハ、事、致、経、之、お、固、壽、寺、主、辰、田、の、墓、碑、
 設計、二、つ、き、来、治、長、時、辰、法、と、志、す、時、り、
 以、得、に、寄、り、せ、し、大、隈、辰、八、十、五、年、史、文、紙、

二十五日

此、種、打、合、ハ、事、致、経、之、お、固、壽、寺、主、辰、田、の、墓、碑、
 設計、二、つ、き、来、治、長、時、辰、法、と、志、す、時、り、
 以、得、に、寄、り、せ、し、大、隈、辰、八、十、五、年、史、文、紙、

伏文を筆記し了る。本間健三郎も亦此
刊の地ありとせしむる。對して、散策下
の者皆を記し、獲る事ありし。由途亦亦
田原局に、必のす、夜に今宵あり。

廿六日

雪、後雨、昔村を時中、新段に、郵投可、村
山、為し、此、高、利、助、考、杖、を、考、す、久、江
成、一、分、祀、の、高、件、三、日、來、訪、遠、田、久、敬、書、田
半、安、平、信、二、日、來、訪、日、本、評、論、社、の、出、上、皇、泰
才、中、三、鐘、滿、談、奉、二、余、の、寄、稿、を、考、と、し、金、一
十、四、大、二、角、花、三、手、附、金、と、し、七、渡、す、午、後
時、七、時、分、不、用、給、本、洋、書、の、分、二、百、冊、形、也、
を、檢、出、不、日、賣、却、せ、んと、す。

廿七日

日

昨、内、山、省、三、本、ある、石、油、時、教、刺、す、心、も、余、が、取
味、疾、の、宿、を、難、不、心、午、先、を、代、り、田、原、局、に、投
し、武、老、會、館、の、映、畫、を、見、送、書、を、寄、り、獲
後、七、時、を、耽、談、寺、崎、元、重、と、し、書、出

廿八日

寒、氣、甚、し、昨、楠、瀬、日、年、雅、游、書、局、方、日
三、つ、き、來、訪、内、山、省、三、三、回、大、理、野、交、洋、書、本、賣

却つと松雲をくもれ、本日大工長千の材木を
 運搬し来た。村山ゆきゆきと来た也。各家のあり
 前しよかんとし、コワシ屋、古林一式と長印
 先とし今日言地を示す。運搬の身用の書
 ちあふの保四田位といふあきんはんどコワ
 シ美とまん、二束三文有ること、言ふまじも
 可し。本心火、焼けやうと親念しと仕末を
 為す外なき、難行

の
 三月

一日

時節年の如く雛飾を為す。雛飾の玩具の内
 物も急須、盆、豆、うまを抽き、玩具の箱に飾す
 前月心うぎ目奴、正々、二十枚をかく紙
 計二百五十枚を授け、田村社二甲借束の付、百
 束、植木、扇と松き善海、中、墨、植木の
 移積と松す、山田、山田、山田、山田、山田、
 本、今日しと共、世の片付を如く、長印、
 贈す、文、書、書、山、陽、陰、出、丹、善、原、平、祖、母、
 二十七の書折、三月二日、養、式、の、道、知、列、の、直、
 二、一、一、電、と、見、し、令、養、系、入、ん、す、行、村、の、五、八、
 八、出、状、を、見、す、終、日、家、長、法、日、道、具、の、
 仕、末、に、没、頭、す、コ、ハ、レ、ヤ、に、五、十、五、の、家、の、名、

印と決し半金五十圓酒六、数寄屋、中分
有ること、すま、品物の居る、其儘存続
のり

二日

植木を移す、杉木の移植、元から、森林陽
的、田川東流、出級、五、内借入、有、托
片付の、大、茶、茶、田、借入、前、田、陽、山、十
説を、聴、り、讀、む、午、後、坂、本、三、の、未、活、多、時
、学、校、の、通、り、を、説、し、去、る、

三日

昨、植木を四人、杉、松、雲、松、又、松、杉、の、洋、装、表
、旋、本、三、七、九、冊、の、字、合、を、托、す、寸、孫、本、を、四、個、の
、美、本、の、納、入、保、存、の、洋、装、本、を、数、冊、托、す、
、移、植、の、後、室、三、田、村、北、三、の、杉、の、田、川、下
、り、来、出、村、山、物、し、如、三、一、間、を、先、方、主、後、上、以
、花、来、り、注、射、を、施、す、午、後、假、室、漸、く
、定、ま、る、家、税、七、十、五、圓、敷、金、四、百、圓、差、入
、後、若、地、名、番、地、六、来、十、六、番、地、四、号、
、（道、々、の、花、
、し、）、風、名、柳、を、取、寄、の、寸、孫、室、に、用、也、る、卷、也、
、大、工、石、材、を、運、び、来、り、曉、言、本、前、久、保、早、稻、田
、文、子、の、室、の、稿、を、も、と、も、流、し、七、番、す、

四日

昨、丹三、梅状香典二十日菓子一函郵送、
文芸春秋社より三十日現金を寄せ来り、早
大ら、生退き、糸、紛擾、親の仕末を
美し来り、種村宗八、功、不塚三、申、来り、電
話を急、保、富、移、才、石、保、と、特別電話
に、頼、友、者、親、を、持、来、物、種、安、三十日、石、心
に、海、東、梅、木、名、四、八、川、つ、ま、来、り、薬、劑、會、社
の、件、三、日、坂、上、山、花、田、代、高、友、在、三、日、山、年、も
なく、雪、降、り、元、と、は、な、る、田、原、尾、と、酒、会、し、て
愉、ん、だ、家、り、片、存、に、没、頭、今、夜、出、版、部、に
り、て、印刷、會、社、の、重、重、と、な、り、の、も、来、り、し、に、根、拠
余、主、に、お、あ、り、お、お、り、と、路、席、し、十七、日、池、田、龍
一、三、歌、集、及、座、の、集、り、を、之、と、く、夜、来、降、雨
あり

五日

雪、積、り、三、寸、今、朝、方、や、ま、り、和、み、又、三、を、石、心
三、日、一、電、話、移、設、の、お、お、を、為、持、や、る、難、波
現、一、日、お、お、の、お、お、と、報、告、の、お、お、来、り、村
山、香、浦、年、接、能、物、三、十、一、三、海、松、木、林、石
の、肩、類、出、交、席、風、一、双、差、印、を、托、し
品、物、を、交、付、大、仕、入、の、お、お、に、固、者、を、納、出
出、込、倉、庫、一、預、け、の、分、也、前、日、の、お、お、

読めば数都令十個也。勸面井公平とて
其著と漫文と区々を治る来り未吉回
寺十数個出船部、預け入に社用の自動
車も借り入んことを吉田東人の依頼、石
塚久、三崎金五、山也、久吹、代り海す
所得税徴寄列る又桑若二個を海山園者
片舟の用也。船部を著りて船入の昆田
多道持として信美、一箱の詩出、一箱と定り
七すあり

二日

昨日本評論社と余の寄稿を海への中あき
つた如く、江浦地業二十数人寄り来り
朝来園者と仕入、若くは装置、昨日出船部
頻くへき、よの都令十三個とる。早中幹子
房、本車流植木、四人来り、石工あり、工を始
め、出守柳子、午後、舟子と仕、之を
の儀、宿を檢す、日古、生、保、淡、令、比、二十
由、念、と、七、白、羽、重、延、船、り、来、り、金、二十、内
生、運、子、の、久、き、す、終、日、家、中、片、附、り、食、り
供、り、あり、田、原、尾、に、酒、心、す、

七日

昨日、便紙つ、き、下、前、を、取、り、七、初、め、を、通、す、と、

七敷次郎に上る。静まる。夫來の儀、高き。荒平の家、里を儀、運ぶ。朝、手、高、此、附、没、致、す、無、用、の、由、物、多、き、自、困、む、令、社、并、に、回、り、致、す、も、不、使、又、一、人、手、係、り、の、未、だ、回、者、入、茶、茶、十、三、個、自、動、化、貨、車、一、台、出、政、部、倉、庫、に、移、け、入、る、電、話、機、を、儀、高、く、一、ヶ、所、へ、移、す、植、木、を、移、す、の、儀、由、り、取、扱、の、儀、此、の、移、す、を、二、度、印、を、托、し、洋、装、を、委、印、編、を、代、金、を、十、ヶ、箇、二、十、ヶ、夫、新、米、運、子、久、し、し、福、轉、手、係、に、看、護、婦、を、差、す、又、刻、時、運、七、し、の、長、倉、の、米、を、二、ヶ、家、具、を、運、出、に、お、お、世、の、一、百、四、十、五、日、預、入、も、費、昌、士、に、

八日

町、分、朝、の、新、米、を、測、する、日、地、害、の、激、甚、地、を、山、陰、の、北、丹、波、地、方、を、宇、津、城、崎、其、地、の、名、邑、に、教、を、多、く、寄、附、地、を、寄、津、津、

ありと傳ふ、ビアノ紙巻書、運ぶ、洋装本は宗
のき重又三冊を重印、決し松屋重三に依頼
す、此の間の碑、つき小林堅三を頼み、和田重吉
も来ぬ、植木色四八川つき来ぬ、午後繼雨
利、居、休、働、夕刻まで大賑
つ、植木七畝、移し果、和田重吉、梅瀬
ニ方、紙、在、外、四、本、古、一、と、手、信、
史、中、早、稲、の、文、の、需、一、成、し、四、五、枚、原
紙、も、も、未、了、手、刻、ハ、山、陰、の、本、
史、を、評、後、し、坂、基、史、を、峰、山、町、と、為、す

九日

雨、風、朝、来、早、稲、田、文、の、校、す、一、キ、稿、を
此、り、本、間、久、雄、に、郵、送、す、梅、瀬、梅、十、久、の、家
花、田、吉、十、丹、内、史、し、其、不、十、一、時、梅、宮、と、利、り
事、も、高、一、午、の、後、梅、宮、松、雲、堂、洋、装、本
二、冊、和、本、百、二、十、五、冊、賣、却、の、為、引、海、可
冊、共、原、平、と、未、間、細、續、和、史、と、鴨、三、足
も、美、し、く、来、ぬ

十日

西、風、収、ま、り、梅、宮、十、月、ま、り、史、の、家、一、式
社、用、の、自、動、機、を、以、て、運、搬、し、畢、す、十、時
今、此、の、重、役、梅、宮、午、後、一、旦、梅、宮、古、屋、賣、却

代金百七十一圓法元前四手附五十四圓七角二
角二十一圓也。二万圓銀行に預け入金午後
飯沼君に別り家賃と敷金理(夕刻迄)設頭
す。

十一日

晴風作初飯沼君一庭幸、熟睡と湯浴
朝とと静をのけけり。風呂場を直し
杉柵を架せしと、杉木を移しと、十一
時神楽場、柵を壊し四層屋に飯し五
軒町末、別り家賃と敷金と、田村君二
混能去し、二時飯沼君の田村君二

十二日

晴、内、初、十、教、家、飯、沼、君、終、終、の、る、る、
状、を、美、美、美、狂、狂、と、著、著、著、著、
電、流、を、通、じ、来、る、際、子、法、を、通、じ、本
向、久、雄、馬、治、福、地、根、底、の、長、篇、出、論、一、巻
極、大、會、念、出、政、者、一、休、身、休、午、後、湯、電、三、列
リ、湯、を、う、け、あ、ら、た、女、を、見、見、愛、の、ま、あ、を、折、り、
七、物、一、ふ、水、谷、子、房、子、也、君、金、原、君、金、葉、
解、題、を、ま、ら、し、ま、ら、し、和、久、也、中、一、也、
内、子、に、給、上、田、交、付

十三日

今朝雪降る内子、三十四為持名を、午の
隨筆下の原形を心す、午後七属福の時を
移す、終日雪やまず、四時迄、五六寸積り

十四日

明隨筆下の原形を心す、十一時、利、克を付
ひ雪路、報生に利り、物、牛、茶、酒、飯、二、三の
物を、睡、ひ、五、軒、竹、の、石、を、訪、ひ、物、を、教、り、理、し
後、為、心、く、隨、筆、の、送、集、才、二、配、を、村、山
駒、の、物、に、托、し、心、書、の、書、三、る、六、中、の、四、
支、印、の、心、決、ま、り、心、百、田、中、積、積、可、以、子、教

見と可しとて、ある、多、く、ある、其、心、
命、保、信、金、十、三、日、四、十、美、由、二、心、

十五日

雨、霜、来、捲、き、の、原、形、田、五、枚、を、心、す、
現、漸、く、成、る、故、上、山、花、の、注、射、を、心、す、
松、山、島、の、心、來、る、書、意、心、賣、印、代、金、三、る、六、十
二、四、拍、を、心、す、松、山、島、の、心、來、る、書、意、心、賣、印、代、金、三、る、六、十
二、乃、七、十、五、日、治、元、田、方、代、借、十、五、日、拂、満、午
後、隨、筆、下、の、稿、を、修、む、二、三、の、雜、信、に、接
す、父、刻、小、林、屋、三、十、日、の、碑、を、心、す、云、

て去る、物こ入り松ヶ坂廿四酒首等と下物を携
へ申す、三木武吉父の訃に據す

十月六日

時、風徳葦下の原相を修め、あつちの三
木武吉父死云、この甲狀と考案とおく
二、甚玉所、二三の欄を築し穴物を修理
す、午後内子始めて来る、見ると二三番酒の
吉を打入ると去る、金上る二回銀行へ預け
入る、午後七引つ、この節を考きつ
つく、四時、この自動車と氣をこね葉飯に判り
三人合、この踏む

十七日

時、楠瀬日年、其の河江の碑面の字の句数
を托す、自刻の木印と稱する、貸借の圖を立
冊戻、光と赤木板と物と冠い白紙を二枚し
て、この楠瀬塚とす、この鐘を
銀子の合津、この三つ、この物
を考す、三時の活字、この後
合紙に据えん、この歌鳥、この後、この割
を考す、この幸の、この物、この等、この金
を考す、この佛、この金、この自、この金
を考す、この報、この来、この浴、この天、この成



十六日

昨舟後地方の大穴岩の都下の木材の積
大騰貴を来たり。余等の新築の材木
前大工手も買入る。此の不利を
免るを幸し。日記を書き。留置の積
を有る社に定す。未だその積定
べき思ひ出さず。才十圓を積し。午後成
り。今井七郎宛をす。往村家の山
三才も。午後五時。行。瀬長
田の碑文の稿を属す。半に成り。や
銀行積金二萬八千圓。出。八千圓。向
附植木。手間代六十八圓。手
山掛。現金。家。用。三。元。つ。

十九日

昨朝早田の碑文の稿を属して成る。植
日。年。比。田。の。碑。銘。の。集。字。を。持。来。り。示。さ。る。
の。般。四。の。家。字。柳。直。を。托。す。久。江。成。
一本。後。森。袖。海。を。四。各。各。位。竹。三。治。を。昆
田。碑。文。の。漢。字。を。托。す。向。金。田。原。名。に。致。し。
比。宮。か。林。五。三。を。托。す。碑。文。の。字。を。云。す。
今。井。七。郎。早。橋。子。報。を。託。金。五。圓。を
持。来。り。出。版。部。と。春。城。徳。節。三。乃。五。字。を
今。井。亮。三。郎。と。領。木。林。袖。海。三。元。を。致。

東向神河に正とある。

二十日

雨前宵夜半眠覚の昆田の碑文。東を指す。
とんじと睡眠をひき天のりり。朝の後
牧心流流りも南極所。二福の碑文
を漢文に直せんことをおぼしめし
ゆつ。田代直久の森陽是樹の雨雷
と爰し。冥氣加る光石塚と久を直
子三初。午後挿煙。旋ねを筆す。西井文士
おまけに也と爰す。

二十一日

晴湯浅寺のイサのり。酒田形すの
竹島長次。父子睡り。おまけに三
の考。七三。上田の考。又
候を頼み。段々。西井湯浅
候。ゆき。新。案。後。考。も。候。も。又。刻。ゆ。き。
二三。候。位。と。ある。

二十二日

晴今朝梅雨。年小林。三。大。石。記。因。文。
多。年。の。在。昆。田。の。碑。文。就。也。日。年。
堀。一。乃。碑。南。の。大。字。候。も。小林。を。し。と。ある。

ハ其(其)道(道)セ(セ)一(一)志(志)大(大)石(石)理(理)因(因)佛(佛)語(語)も(も)燈(燈)
銘(銘)を(を)兼(兼)ひ(ひ)す(す)り(り)示(示)す(す)其(其)内(内)も(も)採(採)り(り)集(集)ま(ま)る(る)
も(も)日(日)年(年)一(一)托(托)す(す)込(込)森(森)林(林)も(も)銘(銘)を(を)兼(兼)ひ(ひ)す(す)り(り)集(集)ま(ま)る(る)
其(其)内(内)も(も)採(採)り(り)集(集)ま(ま)る(る)森(森)林(林)脚(脚)村(村)并(并)記(記)の(の)破(破)綻(綻)の(の)件(件)に(に)
来(来)詔(詔)飛(飛)筆(筆)の(の)始(始)を(を)終(終)む(む)午(午)後(後)五(五)軒(軒)竹(竹)也(也)
二(二)到(到)り(り)地(地)鎮(鎮)祭(祭)に(に)至(至)余(余)亦(亦)春(春)城(城)隨(隨)著(著)湯(湯)淺(淺)
吉(吉)郎(郎)と(と)照(照)る(る)今(今)夕(夕)夜(夜)傳(傳)令(令)國(國)内(内)各(各)の(の)粟(粟)城(城)
會(會)あ(あ)る(る)美(美)人(人)に(に)臨(臨)り(り)地(地)政(政)者(者)十(十)四(四)神(神)主(主)に(に)や(や)
至(至)八(八)十(十)四(四)日(日)記(記)の(の)一(一)部(部)け(け)入(入)る(る)今(今)津(津)亮(亮)三(三)郎(郎)
と(と)す(す)也(也)今(今)朝(朝)午(午)分(分)部(部)の(の)氣(氣)味(味)も(も)淡(淡)即(即)痛(痛)む(む)
寢(寢)後(後)飯(飯)上(上)を(を)迎(迎)入(入)り(り)注(注)財(財)を(を)二(二)三(三)と(と)

二十三日

時(時)感(感)冒(冒)未(未)金(金)其(其)朝(朝)来(来)也(也)其(其)の(の)務(務)を(を)終(終)む(む)
因(因)代(代)官(官)及(及)昇(昇)東(東)亦(亦)奉(奉)告(告)其(其)子(子)政(政)者(者)を(を)採(採)
り(り)來(来)る(る)也(也)其(其)の(の)事(事)を(を)托(托)し(し)て
去(去)る(る)也(也)其(其)の(の)事(事)を(を)托(托)し(し)て
就(就)し(し)て(て)其(其)の(の)目(目)録(録)一(一)冊(冊)貸(貸)し(し)與(與)す(す)午(午)後(後)
一(一)時(時)華(華)族(族)令(令)終(終)り(り)文(文)の(の)協(協)会(会)の(の)清(清)法(法)會(會)
に(に)臨(臨)む(む)今(今)日(日)清(清)法(法)會(會)森(森)林(林)部(部)長(長)英(英)傳(傳)駐(駐)在(在)大(大)花(花)
省(省)駐(駐)在(在)官(官)の(の)回(回)際(際)的(的)財(財)政(政)修(修)草(草)案(案)十(十)條(條)の(の)
注(注)文(文)者(者)も(も)合(合)研(研)究(究)に(に)就(就)し(し)三(三)時(時)半(半)に(に)滿(滿)ち(ち)
の(の)後(後)あ(あ)る(る)一(一)時(時)家(家)に(に)歸(歸)る(る)飯(飯)後(後)活(活)之(之)書(書)録(録)
も(も)余(余)も(も)也(也)と(と)す(す)其(其)の(の)

廿四日

時、風冒漸や、伏朝来、隨筆の稿を以て、
め時を移す、楠瀬日年、其の、四世の
碑首の法名の字成る、亦早大、就、
の字成る、更々、其、
清心、其の復、
午後、出版部、
傍り、
業を、
平、
の、
田、
往、

廿五日

時、大工、
午、
付、
市、
市、
也、
順、
の、
町、

ニ列る四月末拂交は三百四拾の
一箇并入也。地書りの稿を終る時刻に及ぶ城
後方の丹美宗玄より大雪のほかに敷板を贈
り来たる。亀井忠一島の計列る物野通次
印の書状を貰ふ。漢令令々終る

廿六日

而今朝梅漸日年、久留の鏡劉完白
の字家字を集めて持矢直に少春に交付
親書廻し舞文（？）先を付る。而中
里考相付る。物と接ひ天全に録し。新
たの副花の鏡の映畫と観る。是考物
の、（？） 井忠一島の書如或に香
典十員が持成人も書る。物野通次
の所、（？） の書、（？） 志に満る
の所、（？） とある。

廿七日

西奴相形後物付付る。石川原所
の、（？） の碑、（？） の、（？）
い、（？） の、（？） の、（？）
中、（？） の、（？） の、（？）
上原、（？） の、（？） の、（？）
二、（？） の、（？） の、（？）

今更に荒干の田方を賑ひ田原の海に
一とゆく。

廿八日

晴。田村壯二印。種村五八。佐藤良次。東の
段上。山翁。名。注射を施す。今津。長三。印
し。未也。随筆。の稿を従ふ。午後。石塚三
郎。克の。秀人。身。の。治。表。の。名。七。印。重。花。紅
の。新。築。の。襖。紙。見。下。を。持。春。装。淡。を。托
し。大。観。の。模。ふ。出。来。

二十九日

晴。朝。来。陽。葉。の。稿。を。落。ち。田。代。亮。八。身
の。前。馬。の。名。指。成。之。田。波。佐。伯。仙。花。三。日。比
田。の。碑。又。本。利。也。大。密。可。也。森。海。三。を
招。き。交。付。す。毛。利。宮。屋。可。身。治。池。原。順
平。も。し。た。あ。也。十。一。時。迄。と。は。あ。を。記。せ。し。物
と。贈。公。林。彦。三。段。し。と。ゆ。く。又。志。草。の。稿
を。終。了。し。休。伯。仲。亮。三。海。出。と。是。ま。高。田。村
士。と。し。電。報。別。の。只。の。枝。の。由。事。の。也。四月三日
如。身。指。今。海。を。約。す。夜。入。り。内。子。善。治。の
件。の。つ。き。耳。の。松。平。頼。春。伯。も。丹。在。松。吉
の。節。の。香。豆。也。し。と。物。を。終。了。

三十日

凡、朝来随中、舟を修め、正午に到る。心算のこ
と、ふつきの由り来り、善法、机打、涌、又礎、石、七、改
こ、四、五、か、凡、今、朝、を、こ、上、土、を、市、四、中、各、用、也、ら、散
入、を、如、也、午、後、草、中、夜、ん、て、文、行、を、珠、環、
函、を、ゆ、む、二、三、の、函、を、と、燈、の、雨、降、り、来、り、四
原、石、と、飲、り、て、ゆ、く、る、お、中、中、上、山、花、の、
可、り、物、を、燈、る、夜、に、入、り、由、り、再、来、

三十一日

朝、朝、来、随、草、の、舟、を、修、め、兼、船、合、法、二、つ、き
来、注、日、本、法、論、者、も、余、の、空、の、舟、に、并、し、海、金
を、空、の、也、来、り、十、一、時、出、海、波、を、く、し、船、を、こ、
ハ、リ、天、金、に、飲、り、て、ゆ、く、亦、随、草、の、舟、を、修
め、佐、伯、仲、花、の、舟、を、修、め、又、亦、二、舟、を、
空、の、也、来、り、

〇四月

一日

朝、佐、伯、仲、花、の、舟、を、修、め、兼、船、合、法、二、つ、き
来、注、日、本、法、論、者、も、余、の、空、の、舟、に、并、し、海、金
を、空、の、也、来、り、十、一、時、出、海、波、を、く、し、船、を、こ、
ハ、リ、天、金、に、飲、り、て、ゆ、く、亦、随、草、の、舟、を、修
め、佐、伯、仲、花、の、舟、を、修、め、又、亦、二、舟、を、
空、の、也、来、り、

大橋園者彼と列り、田方協人等の幹部会に
臨み大会の事、項を協議あり、送書選集を
三冊配本、但来而

二日

和京、往打寄へ湯浅、左印、軍式印刷の渡
武謀流、手紙、交友、自由、柳心、組音の文
化、その等の回音、英、集、付、来、訪、余、の、意
見を徴して去る、日印、如、め、て、来、り、池、草、の
稿を、終、り、て、全、る、五、十、四、土、代、拂、為、豆、子
、光、を、考、へ、て、干、後、寺、五、軒、所、あり、其、る
稿と、檢、分、を、不、在、や、り、本、間、へ、推、河、村、を
持、來、り、干、後、亦、池、草、の、名、稱、を、教、理、す、
為、富、へ、三、才、の、具、を、提、付、く、田、宮、若、川、義
太、印、折、く、

三日

晴、日、曜、大、祭、山、田、語、者、亦、林、堅、三、毛、利、宮
彦、交、り、才、の、極、毛、利、を、復、抄、一、枚、を
贈、り、朝、来、池、草、の、稿、を、終、り、て、佐、伯、仲
花、も、も、も、也、干、後、棟、式、の、こ、と、も、つ、き、内、子、来
り、亦、池、草、の、稿、を、終、り、て、四、時、高、田、徳、士、来
り、同、時、紅、葉、後、列、り、七、時、乃、二、校、の、徳、士、
交、送、川、邊、其、他、重、要、の、件、に、片、内、議、前、

馬後山を利ノ三人合を崩き十時のゆき

四日

晴後雨、朝早過ぎ葉の朽を修む。午後
要伴の田中穂積を宿りんとし、宿旅を川
合へすんハ、此秋卒業式何んハ旅行せり
とそ不在、このまじ、金子馬次、今午とそ
枝の要伴も説す、出版部も、生六千
田借り受く、午後出版部の重役合
臨り、五軒町書、回つり、葉若のゆき
瀧澤あきと、竹香典を考へ、通書あか

五日

雨、高田半生年をも来た、朝来随筆の稿を
修む、真崎桂治らと、お茶四鐘を無送す、
大石理因未訪隨筆の稿若干を交付
其の教心理を扱ふ、高屋庫中、未訪隨筆
校反合、このまじ、お合を考へ、午後雨、風収
ます、五軒町に上棟式を行ひ、早し行人階
上、坊と後、神宮曲来り、式を欠け
大工外関係者、酒公兼、祝儀を贈り、
新倉倉庫三の非利、二日大工棟梁、交
け、高田半生年、高田半生

而三月三十日... 加藤朝島... 文苑を評論し... 甲切板を人... 山房の長谷川... 舟配本、長谷川... 字典の批評... 高久素過、中...

時、志賀重... 時節、副令... 君の内田... 文の稿を... 高次、若方... 高久素過、中...

朝来中山の属と云して漢和字典の
批評と痛す芝田の小田小井の三とせ
未功以前の碑其地に転ておるものも
美地人多し此の事田記記者
久良女の日記を記念稿と余の投箱をも
去東洋圖書刊り今この関隆次未る四書
江籠全書書の購入を概説す内子来思
午後字の者の批評又を去る川橋平
郵送する志賀重印先出に付香典十兩
贈る午後此の亦田の古紙と云つて二三の
稿と題して田屋の酒飲して物入る

朝来随筆の稿を終る
日表表の稿を交付し集字を托す
此の墨おるの流深子壽米壽紀念
此の書は稿と流と流して早後
山崎の刊り志賀重印の告別式
内取直中をも入るの概を兄東台
今満洲の花を寄し三時物書
筆の稿を終る

朝来随筆の稿を終る
田村壯二の書

啓二のきと云、文の城と本二程配本、阪上此
花事あり例の注射を施す、原原楚ふも
余の隨書に中しと云、孰と細説を寄る未
了、非亦江巻名ふし来者、高崎米峰を近
刊者と寄の七である、光回十時(家を出
新居と云、現地地をい、浅草の上を、四つ
浅草! 致し、五軒町をく、三三の海老島
電不在中に、傳書の加崎論次、舟次、

十一日

和加崎論次、其後、陸を毛利宮、彦良
海、日、印、印刷、分、社、利、市、田、の、平、版

工場と本社、合併の件、山久、山久、山久と
内、議、し、た、た、後、由、原、林、に、
卷、と、見、る、す。此、日、未、に、来、訪、者、と、
する、七、時、分、迄、す。五月、丑、日、佛、教、者、全、分、
二、校、七、回、者、後、論、者、採、派、名、合、の、通、照、
る、其、時、未、峰、に、派、と、見、る、又、丹、吳、宗、
吉、二、の、間、す、十、六、日、午、前、大、隈、美、大、
講、堂、の、上、模、式、二、列、す、心、き、早、大、
書、

十二日

成、朝、身、逸、著、の、程、を、後、と、楠、瀬、向

二揮毫を乞はるる長成るヤ林、又、
 川芝田、高美、ヤ、池、重、集、
 収、入、き、家、族、の、田、方、十、六、冊、貸、付、共、
 海、生、人、平、得、濟、の、社、資、未、核、散、者、知、
 十、二、物、を、悔、ひ、天、金、三、拾、七、兩、出、給、を、功、山、
 本、書、店、三、十、四、拂、入、新、館、亮、を、外、二、三、
 本、金、五、五、五、四、肉、子、と、流、き、隨、筆、亦、行、
 二、付、大、石、理、因、二、問、す、

十三日

時、小、林、望、三、本、稿、福、美、附、身、功、池、重、集、を、終、
 一、時、先、と、後、を、東京、野、に、行、く、午、時、
 彼、土、時、十、分、の、沈、ま、る、四、府、各、二、列、り、方、四、
 峰、を、其、別、在、に、功、の、話、由、山、本、忠、具、政、
 二、着、し、あ、り、長、時、三、時、の、話、由、山、本、忠、具、政、
 任、職、を、内、議、し、大、要、打、合、を、行、り、功、池、
 重、集、一、時、の、話、由、山、本、忠、具、政、
 由、京、直、二、物、名、一、功、池、鏡、命、修、三、と、奉、
 也、

十四日

時、吉、回、を、人、来、訪、中、田、ヲ、フ、セ、ウ、ト、社、を、買、
 収、の、寸、漸、々、運、び、各、條、約、を、取、換、せ、ら、る、
 の、報、告、を、乞、は、る、小、久、江、を、振、き、更、ら、る、本、契、約、

と為すまゝの事このより多時内遷す地蔵
中一衛口の所の一角を占めんと欲し其の業
他二十頁成る楠殿河原の面影の豆納豆と
筍を器り来る、古田町の遠く良友と来
簡

十日

此朝午の雨やまず、本林脚すしの池にて大石
田来り地蔵の居る一末を交付す六地蔵を
の福を修め、二十枚枚葉心午後二時に列
り漸やく佳しむ已む、市村茶軒と来信、
大隈會館に列り、山田通まづ日本橋三
次

めとの地蔵相傳の事、唯今余也
一場の祝詞を陳ぶ、九時帰也

十一日

雨やみ風起り、初来地蔵の福を終む、
新島の校友杉井部流外三人、丁卯の二人を
拉して早稲田のふみの大隈会館記念法巻の
上棟式に参り、神主の儀を以て式を行ふ、
大隈会館に参り、午後八時、江村と
杉根塔に参り、古く是の二時、八人の
汽車に投ぐる、白目今北職士の遠足、
杉根：淵くこつ、未世を先考する也

事務員二人随ふ、俾茶場にて小林又七を以て四時
函根塔の浮き着き一に湯に投ず、一浴の後、曉を
告ぐ、十一時寝に就く

十七日

晴、今朝午後八時、江ノ木島山田氏の伴、自動車
を以て、純羅を以て、公園：敷集、一頁、一杯を
飲け、電車に乗る塔の浮き着き、一十時午後一
時、舎地より、近に集まるもの、六十名、余、一
今の百名、遊、安んずをいふ、余、一林の、頂
況を、さす、遠、近、各、二十、名の、ゆ、敷、の、出、席
を、見、る、今、日、も、如、め、と、ま、四、時、半、に、入、り、

と、た、先、の、塔、●、時、を、あ、ら、し、五、時、分、合、衆、は
日、原、の、汽、車、に、投、じ、一、時、由、吉、内、高、橋、は、
職、の、形、を、形、の、出、り

十八日

晴、真、時、桂、次、中、土、田、亦、次、ら、一、と、来、て、小
林、望、三、山、田、信、隆、百、須、其、方、次、ら、一、と、一、時、由、吉
十、時、文、の、協、会、の、理、事、會、に、臨、み、大、隈、會
館、に、合、會、し、て、由、吉、隨、筆、の、稿、を、修、め、
芝、田、と、山、田、墓、表、の、拓、本、を、一、つ、あ、せ、来

西早朝と進書の稿を修む、十教の
喜外無衝口若の二巻百五十五頁の音
き定し漸やく成る柿瀬の年を扱きし
昆の墓誌集抄を以て就て云ふ、十時の時
印刷舎社の臨時重役入心二念云、市田
ヲフセツトニ坊買収りしと決す、由書後又
隨筆下の稿を修む、大命政友令田中総裁
組閣の大命下る、浮田和民ら来出、意外
録衝口若原村一東大石理因に交付、
新野直亮方らへ貞松似修治(友)也を授
す、あ倍部方らへ似修治(友)也を授す、

三列の書物の進めを名る、山崎峰其の
訂する、田原尾と進致す、

陸官修好日高の稿を来出、朝来活巻の稿
を修む、阪上弘房有りの例の注射を説す、
仰聖の加治川お利但合より加治川活巻は
二冊来本し来、之を付む、銀座におき
て世業を致し、ゆゑ名後、天徳寺の稿を
修む、夜間中山房の考、及び福手來り
五十四の漸全を照らしてある、其批評
の字、野上と指出の成也、

晴風、京都能く公移を奉り、筭を呈し、未
の、朝来、臨幸の原野を敷正地し、秋味、徳
探約、一東大石、理の、四付、程、打、家、八
本、林、殿、美、村、耳、法、年、子、馬、沈、内、の
清、割、園、有、館、と、つ、き、身、法、修、ら、の、校
の、由、る、り、を、法、し、て、お、る、二、宮、書、道、能、大
信、吉、く、法、色、を、書、す、一、午、後、を、書、三、行、之、と
一、と、神、樂、書、院、を、過、く、野、花、あ、の、四、方、百、諸、院
行、皆、元、付、を、法、い、行、前、人、山、を、築、く、あ、つ、て、法
三、の、り、引、出、し、の、手、既、を、為、す、五、家、老、七、行、
花、の、り、の、関、係、あ、り、出、版、印、刷、創、會、社、を

法、の、て、あ、る、り、を、法、い、未、だ、混、沌、な、り、文、三、を、
野、花、を、一、高、生、野、花、の、又、二、件、引、出
一、の、手、元、と、為、す、甚、法、院、の、日、陰、法、
心、ち、ま、あ、り、十、五、報、り、先、の、開、録、し、あ、の、
あ、る、ま、を、元、付、を、法、い、然、ら、ず、緊、急、急、急、
か、を、非、と、し、し、秘、密、院、今、何、ん、の、面、目
か、あ、る、自、分、の、り、と、本、下、の、法、録、の、一、齊
：開、録、さ、る、こ、の、え、ん、の、宣、念、す、る、ま、を、
光、明、何、も、こ、の、あ、る、り、利、由、上、来、法、
録、の、一、件、を、法、い、入、り、内、子、未、だ、野、花、を、
口、外、出、法、い、

二十二日

吹賦界の混乱、終に日銀始め全四の銀行を以て
今のあり一齊に臨時休業の本に出し、新内
閣の制限仕拂と或る期間行へんとし、緊急勅
令、東本の仕付各院に附さる、近の臨時議會
を開くことと決すと、新支紙幣す、支記
成一、二、三、早大と大崎吉、務員す、新内
務、支、分のす、このき、云々、一、旅費、る、十四日、支
元、出、收、部、と、大、ほ、う、給、員、す、又、著、述、印、税
三月三十日、この分、六、九、十、五、四、三、十、著、述、印、税
拂、金、五、ろ、回、控、除、の、残、款、也、送、印、子、守、の
着、派、印、記、念、始、と、寄、す、へ、き、福、を、記、す、成、上

新、年、改、支、拂、給、院、令、に、仕、付、院、通、過、の、り、以、出、入
取、上、弘、花、才、身、診、年、給、後、本、宅、を、之、前、い、去、つ
て、給、せ、る、花、行、用、の、物、を、懸、ひ、田、原、宅、に、致、し
て、致、す、と、出、取、印、し、る、各、院、給、基、五、印、の
省、田、に、之、を、寄、す

二十三日

吹、楠、瀬、昆、の、碑、文、集、字、種、本、を、齎、し、来、り
田、村、社、に、り、今、福、に、甘、未、法、小、亦、堅、三、紙、後、の
三、行、及、法、を、付、す、を、非、出、後、に、物、を、贈、ひ、終
に、紙、は、二、回、り、六、物、を、贈、ひ、す、午、後、由、り、
物、を、後、更、に、早、大、着、出、取、部、に、寄、す

この用と必要、随、若子山陽種切、廿七散
ニ取入、今夜八時三十分の急行汽車を芝を
付、石原の途に上、寝台車中、久須美車馬
、今夕又柳橋の四岐美代吉に会々す

二十四

時、赤尾驛に園から外に城跡あり、此久三赤尾
、赤尾身、新河驛も杉本山舟場仁一高松
、庫、由、赤尾、出、也、も、二、言、け、り、に、徳、田、驛、後、二、入、り、
、坂、口、蘇、吉、主、事、務、校、者、君、吾、も、お、さ、き、也、も、物、を
、昔、山、田、敷、城、身、ゆ、午、時、支、山、向、を、て、
、赤尾、二、行、く、石、原、身、の、も、お、お、く、四、時、一、旦、の、病、

六時四五の校友、招へん、赤尾、赤尾、飲、出、お、井
、松、本、吉、橋、舟、場、高、松、お、身、の、研、究、の、後、紅
、梅、と、結、飲、十、二、時、迄、宿、り、ゆ、り、

二十五

時、山田敷城身、三、思、以、の、埋、骨、申、事、碑、に、就、て、酒、を
、紅、梅、の、新、河、驛、に、揚、げ、ん、こ、と、も、托、し、早、食、後
、此、二、新、河、驛、の、身、に、利、の、映、畫、店、身、ゆ、分、を、を、
、社員、を、預、け、し、ゆ、り、也、。、親、友、身、ゆ、町、の、一、の、宿、舎、に、
、留、り、酒、を、石、原、身、の、を、付、け、来、り、就、合、も、飲、食、
、を、ゆ、り、早、臥、

時、五時起床、舊日忘栗林五朔危馬の報を
得、今朝十時石塚三申車系、今朝着、今日午
後新着、田三光寺、昆田の埋、日式あり、えん
臨、古為、十時十人、光を付、新着、田、計、
新、木、天、婦、日、行、日、比、日、費、昔、ハ、時、未、亡、人、其、死
と廿二日に着、今朝早大と、高田、畢、新、着、日
に着、十一時、己、比、費、田、着、高、橋、館、に、投、じ
日、日、未、亡、人、と、新、着、日、後、高、橋、館、の、校、友、会、に、懸
む、校、友、と、市、内、有、志、の、合、同、款、の、合、同、し、場、子、と
併、入、の、出、席、有、約、百、名、午、後、二、時、三、光、寺、に、列
得、骨、式、に、臨、み、未、亡、人、の、御、心、多、し、車、系、も

増田、第一、波、を、身、に、受、け、式、終、つ、公、院、に
建、設、有、る、石、碑、下、に、書、置、日、月、を、納、め、事、
畢、つ、余、の、其、心、を、刻、い、石、を、換、す、時、よ
し、一旦、高、田、の、祝、舎、材、甚、に、列、り、人、を、表、し
七、世、の、校、の、統、治、問、題、兼、に、演、劇、用、の、資、
料、と、肉、張、す、今、夜、昆、田、家、多、北、辰、院、に、抵
つ、来、安、の、万、名、十、名、席、上、余、定、安、を、代
表、し、謝、禮、と、る、辰、院、人、の、性、格、を、論、ず
十、時、祝、館、に、歸、り、臥、す、上、野、を、永、次、助、
臥、と、ゆ、え、ま、人、を、見、舞、の、巻、に、し、金、田、を、贈
る、松、木、は、春、城、院、兼、と、監、ふ、

二十七日

晴、早起ニ三子の為め教紙控 是元今朝五
十時ニ赴き、旗野を這ふ、高津吉舟の古方
敷敷を示せり、牛江山外の幅におゝ題者を頼ま
九印生押直毛、新島の校者の錦珍と題せり
小田壽吉土田海次ら、十年の碑文ニ付て、海
東法外中四ら、上宮も亦次も物を語り
来る、亦小田壽吉より、黒物と題する十時の車車一
行と自動車とを連、はるか沢川祝櫻ノ末末、此
川の瀬皆、つと余往年、朝方方を致したる
縁故あり、大正三年、あ岸ニ植へたる櫻、今皆
巨木となり、如雲千層ニ漲り、真の美觀也、規模

の大恐く、本郡比るべし、殊に白を戴
く連山の如きとお映す、この名の觀ハ唯此
ひとり我儀後、元日の日祭と云ふべし、若し月
夜に敬集せば、雪月老の三年のとも曰る、又
こを得ん、余等の自動車とを駐め、こも
洞門のある所とて、此處に、此の洞門
北の洞門、こも次舟渡、こも一里の、こもハ
即ち瀬川の為の洞敷金したる、家、こも、余、
皆の、こも、音、こも、と、其の成り、こも、を、
こも、今回を、始め、こも、に、信、あ、こも、の、
こも、法、こも、也、一、亭、こも、入、こも、の、
こも、待、酒、を、紙、け、こも、を、新、

四五の夜書り来り酒をたぐり一時
も新田に赴き、赤田家、清方
の直下を扱ひ、途次中徳寺と名く
地部有兵衛の墓のある所を入り
墓も見、赤田より中徳寺の墓の
中を義士の木塚をえり、住持出立
も及べぬ、曾禱の傍、山根也此傍云云
以、本山新考と定期行を誦すと此寺
に白勢成選の新河別荘の一部あり、嘗
て聖駕北巡の時行在所と云ふ事
也、案内を多し、一説あり、二階あり、
奥満面、白勢氏の成選時を思ふと云ふ

白勢長衛忠孝の檀家の名も此寺の
すゝ所といふ。清方谷の直下、午谷の郷
をえり、三時十六分増田義一とお付
新河に向け、坂の敷、高倉庫
四郎の出入りをも多し、海舟の悔、今夜
赤坂友に扱ひ、鍋茶屋、辰巳、石坂、佐野、高橋
赤坂舟、辰巳、石坂、佐野、高橋
時、辰巳、石坂、佐野、高橋
あつた、辰巳、石坂、佐野、高橋

廿八日
時、辰巳、石坂、佐野、高橋

洋切多を察し午後時流波の底の横光
の下三座を設けて彼主人と飲山山田教
城有指義彦石保三中交々来る所迄
園道守く石保井雲峰の一族吉井の
下伴ひ来る。雲峰の西集を示せる亦雲峰
の経歴を聴く傳ふ所と甚比異同あり
山中進未曉て到る。放談の時を移す夕
刻皆去る。飯後休旅舎澄五十歩く過る。余
七本行志をも油心八時三十分の急行汽車に
投る。及山田高原石保島等兄送り来
る。新津に於て石保車中に来りて東上
長尾解の漢生也小物を贈る。其女史

二十九年

三本京より獲りて常の物を與ふ。新津病
る南七十五支村奉代五十四下村、十山若
頃、天長節、公館九時半上野着。自動
車、荷物を送載して傳へる。油心
前山男娘の亦到る。浴後一杯を飲け
物者中一の旅多と稱し七時を移す。今
日華族の文の場合の講談会あり
とも行かす。午後四時を移し、晩
原屋に酒飲しとゆる。大隈春彦の家
於久松信初急死の報を受く

三十日

時お江蘇一大石程田毛利定三度交り申
る大石と過草の追補の符を交付あり早
稲田号の敷く空のさるきし思ひ出ますこの符
を兼して成る十二時迄前島男娘の
告別式に臨み先を豆子久方遣り
昆田家遠族故人謝礼の爲の来訪金
是千田ハ久江に托し今秋来月ち向株金
拂上程の内渡りたるハニツクに引出し
る金預けのこちるる如せし打込おれ地
り者ありし書書代程の内二乃廿五因文
し奉る信の長き書書代程の内二乃廿五因文

五月

廿

一日

時今期内子未あり金乃因交付金二乃廿五因
喜海船の預入の三月三十日ロンドン
官時新嘉坡の海船の石油金分
リ利着紙金を割銀取東外集よ
リ物を貯る金紙切手十日内おれ人
寛く海船物と船を扱本三ヶ月の

三日

雨、早朝坂本にやうを訪ふて内務省に録談
の件を話し、赤松校の校長河越三好内務省
時の留印、刷公社の臨時主役會に出席す
後由信、造り初山陽才七版成り山陽
海心身論、復れおる下二程配本、随業
の稿を修め、数時を費す、神楽坂に二
三の物を婚ひ、田原屋に酒飲し、由る、高
橋義彦も果物を贈る。

四日

雨、山田山崎に森島義村を訪ふ、造り、の稿を
修め、十数紙を完成す、午後光を伴ひて出立、新
居、朝魚の籠子と稱して武井野郎
二合、トリス、トイの復返の映画を見、
六時、田原屋、交會し、由る、改訂後
流し、法美の作、物語、瀬波美の二書
も未だ、やむ、次第、遺族、と遺著
を贈る、早稲田大、子、と決算、案、別、草

五日

晴、本河久雄、来、海、山、其、文、字、概、論、を、贈る
又、洋行、の、き、云々、の、子、を、托、て、九、塔、内、の、遺、稿
と、徳、教、の、出、物、も、高、ら、し、来、る、お、林、聖、三、書

須サ方次郎の事ゆゆ楠頼の年を扱き昆田碑
文の在り多に親も重を托する所あり
是火災の祀負来り新を一萬五千由
の保陰を消し保陰料四十七圓
前契約刻度ハ日必を撤除し地高と
るよ大石埋用く地高の約若干を交
付す朝来地高の籍を者きつて
午後行村宗八を扱き日法印樹谷社
カ市田ヲフセツトを扱き此は
出版部高接の令分工場を平阪の工
場之元之ことを治承す今迄高扱苦次
郎の事三共合社四八の令を扱き大隈

二日

時決割圓者飯の件三打文科の委長長谷川
波也池田大伍山田河心河井要後来ゆ
往々後夜を交り今活中飯向に在る城内
東の重選の報を多く十一時自動車を
取り本心三丁目佛友ち年給とあり圓者
飯協会の役員に臨み臨界決集と
評決し午後申前松本王古一の米圓
圓者協定会五十年紀会と臨又

報を漢院を少き終に院院編置の
件に關し理多人身携任者と理多との
別ニ衝突ある余信ち其の解決を
有す。又刻造樂軒ニ松本和四(受勳)の比
免祝意を表しと有。親親八をいしらき
九時由宿中軍口橋を漢文日蓮法華
宗經師を贈る。高須芳次(一)と
一函を贈る。来る。庭来(一)

七日

時坂本三郎、本林、美村、外法、坂上弘茂
十人の注籍を受く。吉田、赤人、社、内、是、来

法、地、裏、院、寺、の、箱、を、終、に、内、子、ニ、五、十
圓、送、す。今日午後二時、本、方、力、者、き、つ、
け、や、う、わ、く、院、寺、の、本、箱、全、部、者、き、つ、
起、事、以、来、本、院、ニ、六、十、日、を、考、へ、す、と、い、ふ。
高、橋、義、彦、領、村、後、ニ、物、を、贈、る、を、決、
ま、す。考、へ、二、時、下、午、三、行、を、考、へ、決、
ま、す。由、原、尾、ニ、飲、み、又、刻、雷、雨、
内、多、運、抵、海、に、松、を、重、造、と、考、へ、見、
状、を、考、へ、ち、内、庭、久、寛、ニ、一、書、を、送、る、
庭、来、雨

八日
市、朝、年、院、寺、の、箱、を、送、る、日、比、來

六人車初多時流す。物と贈る。午後廣
井一十のり目付ち山大隈邸にあり。又の邸
今の所海邊より臨む。先を廻るに
久と坊の。松ヶ枝と物と贈る。又
新治の西尾整房と。安國子と贈る。
方のり。初遠六良氏と。母と贈る。
新三ヶ島と。物と贈る。未だ。出版部
と。新刊方七冊配奉。

九日

昨今朝高の坊士と。動段の邸に訪ふ。山本志
典も来。余の校の徳長日記。三行多時内

選し。午のり。とせ。と。高のり。と。自。動。車。
。回。乘。早。大。の。維。持。多。る。に。信。心。合。ふ。未
。欠。席。と。余。誠。者。席。と。つ。き。決。り。亦。と。決
。し。高。等。二。五。未。二。の。校。を。讀。む。事。件。を。可。決
。し。才。二。三。の。校。接。続。し。つ。き。余。先。の。業。地
。を。陳。列。し。行。々。の。法。論。所。法。を。説。く。
。と。ら。ず。不。在。中。行。内。道。通。り。物。と。
。札。行。村。宗。八。の。寺。崎。元。重。の。物。
。と。贈。る。向。子。七。束。也。隨。筆。一。冊。後。の
。手。帳。と。大。石。理。因。と。文。付。深。夜。雨。一。也。

十日

昨、電報料十枚の二十、納付、四十円内子と被
 ず、所得税額届が出つ、内倉大亮と電報を
 交り、猪組と暮下ち、洋行中の甚、乃、新三印
 今朝、内倉君、一、以、概、未、拓、脚、を、日、人、中、入、り
 着、袖、は、八、派、す、朝、鮮、特、許、産、所、未、伊、孫、伊
 吉、東、流、少、本、堅、三、才、身、物、口、比、中、家、を、碑、文
 園、傳、の、へ、を、き、ま、き、成、金、二、百、円、初、九、皇、皇、四
 少、災、保、險、合、社、も、し、保、險、証、券、額、未、伊、孫、伊、の
 田、川、政、文、才、身、物、復、未、志、錦、喜、裏、印、本、を、贈
 る。方、函、牘、四、冊、控、直、電、人、の、場、に、送、る。
 午後、外出、訳、の、昔、底、を、沁、り、二、三、の、園、者、を
 呼、ぶ。

十一日

昨、山、田、信、心、馬、込、演、劇、同、者、館、に、つ、き、協、議
 す、午後、田、中、被、積、を、訪、り、て、同、件、を、協、議、し
 七、時、頃、其、四、部、中、の、遠、文、良、友、才、身、物、
 其、書、に、送、り、二、三、紙、控、高、尾、五、時、東、台、
 梅、田、喜、子、到、り、圓、舞、合、に、送、り、田、中、初、の
 の、講、演、す、一、部、の、山、田、演、劇、を、過、般、論、
 者、に、節、統、概、を、送、り、日、方、の、書、を、い、ふ、也、
 且、思、ひ、ま、る、其、日、方、に、四、十、五、年、紀、念、稿、を
 送、り、刊、する、二、十、余、の、書、の、行、を、束、ち、り、余、四、十、五
 年、の、著、を、思、ひ、の、行、を、束、ち、り、最、後、氏、に、送、り、
 未、定、か、ら、い、ふ。

十二日

晴、林葵未夫、本坊法談、創國秀殿の事
を御説す。言、此朝より、本坊の御
来、法持、朝の挨拶をせしめて、去る事
田原より、秋、一文を寄のす。又、地、毫毛を寄
送す。十一時、光を付、出、御神樂殿
二二三の物、を贈、田原、御殿、致し、新、石
我、巻、御殿、の、映、書、画、を、見る、と、山、の、香、の
日本橋、三、回、り、御、宿、

十三日

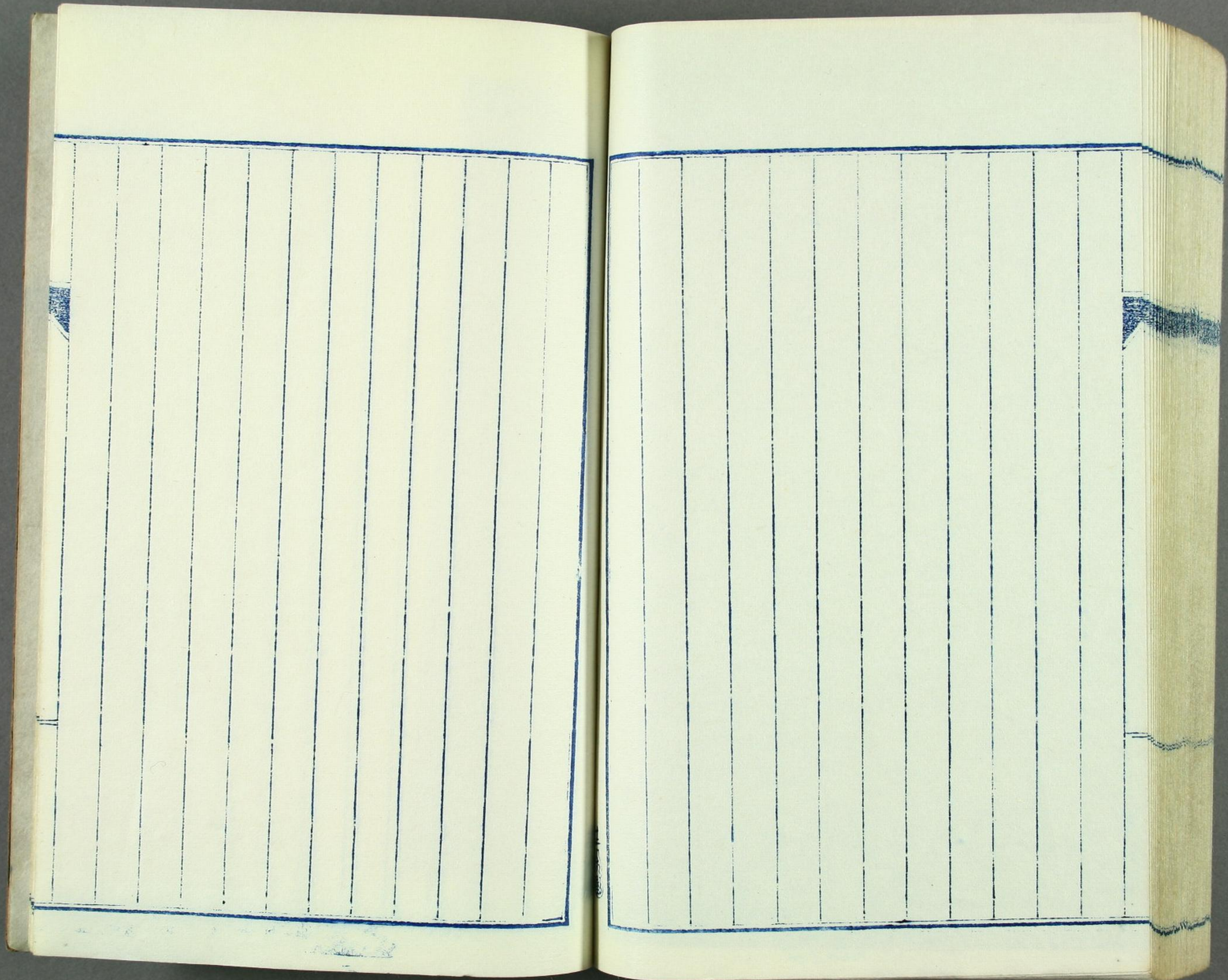
晴、山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)

御宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
加、賀、子、三、行、を、来、法、依、御、仲、施、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
御、撰、文、の、御、金、二、十、圓、為、持、者、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
本、坊、の、二、十、圓、交、付、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)

十四日

晴、寺、尾、元、彦、御、宿、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
陽、山、御、宿、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
本、坊、の、御、金、二、十、圓、為、持、者、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
先、と、御、金、二、十、圓、為、持、者、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
由、り、御、金、二、十、圓、為、持、者、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)
後、十、二、枚、を、御、金、二、十、圓、為、持、者、(山、田、御、宿、心、河、井、御、宿、後、来、坊、御、宿、由、)

在瓶海城(内)邊(邊)出(出)系(系)
也(也)也(也)



以下全て

白紙

